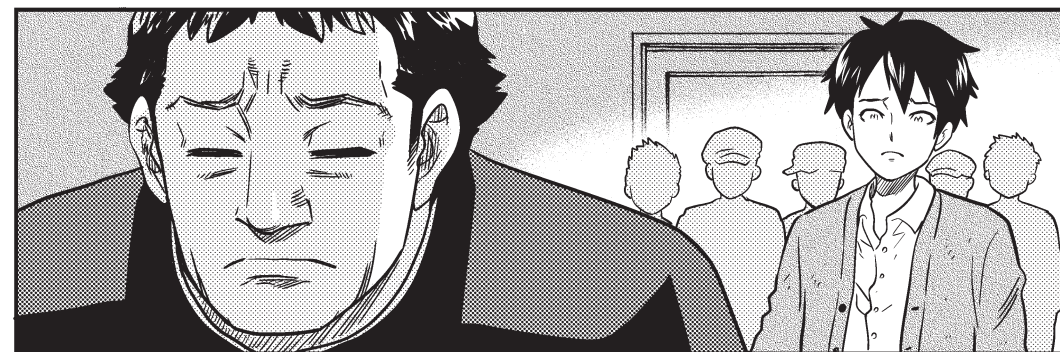
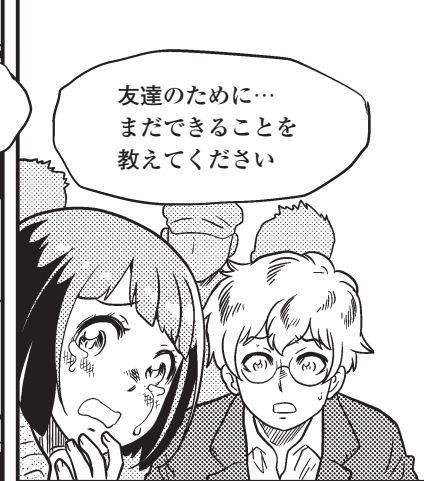
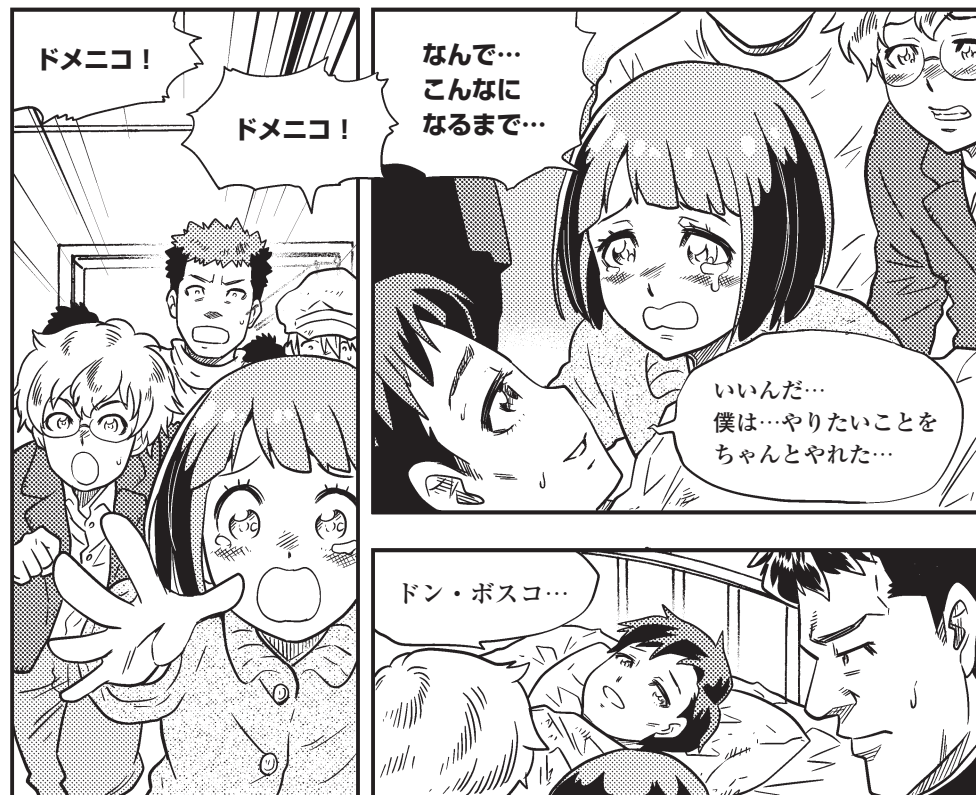
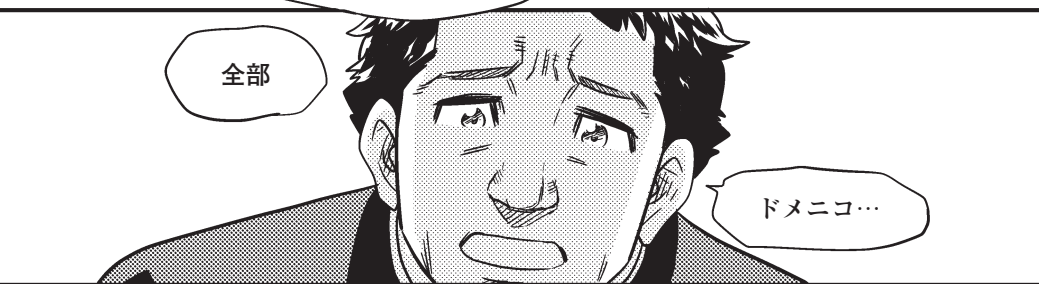
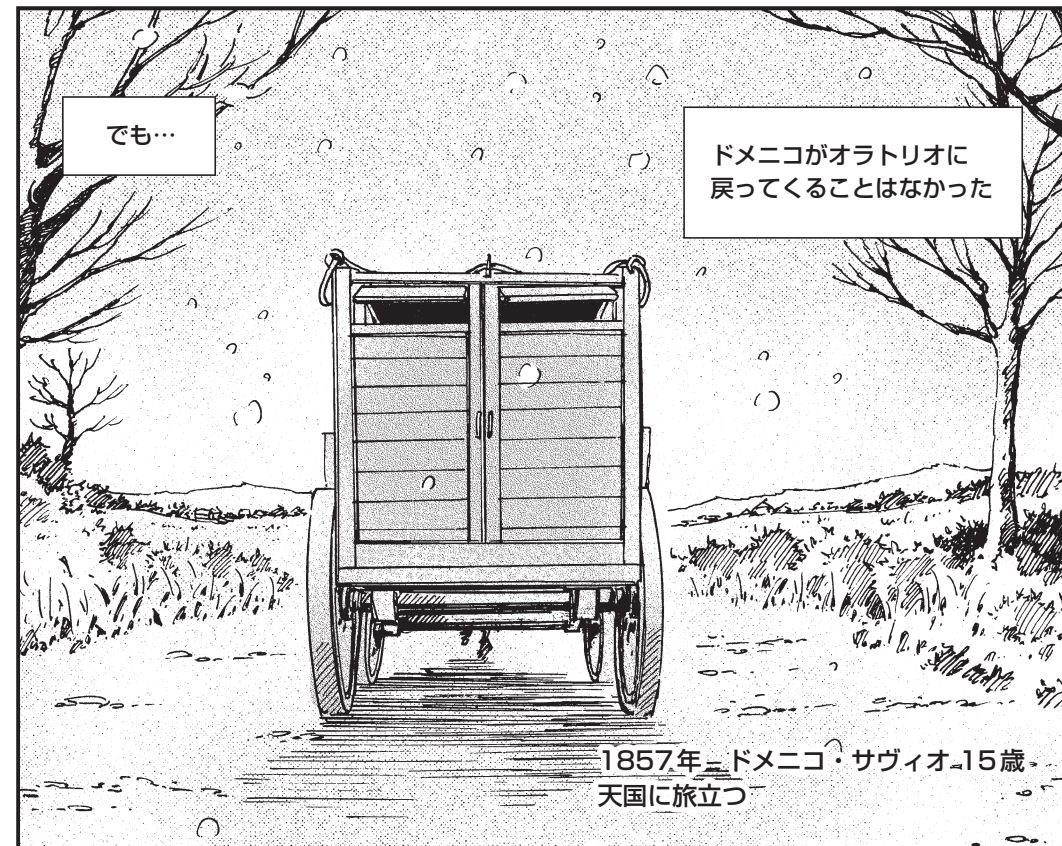
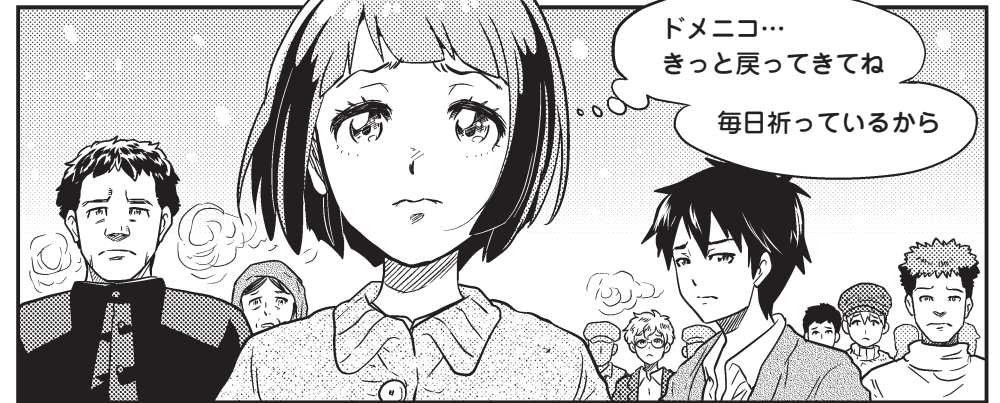
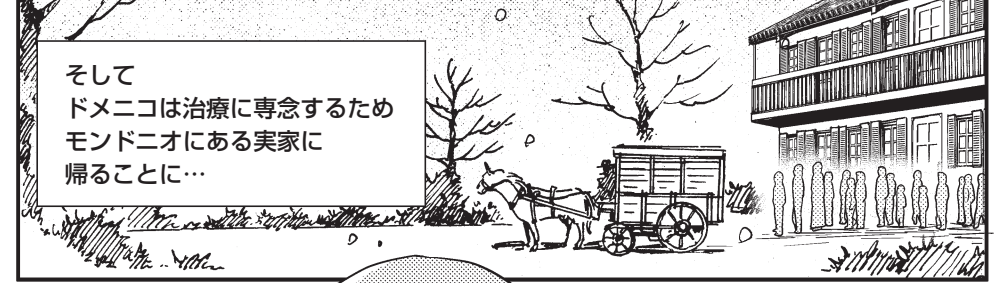
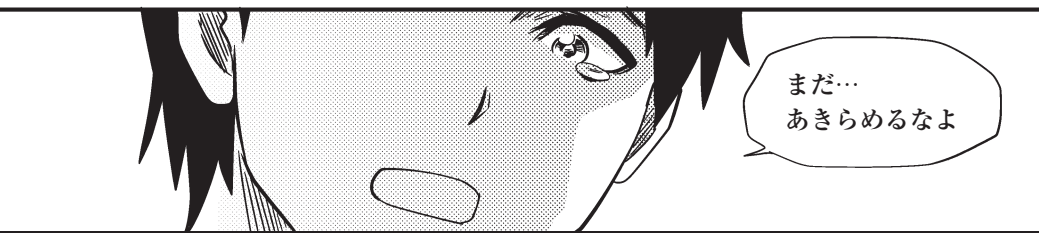
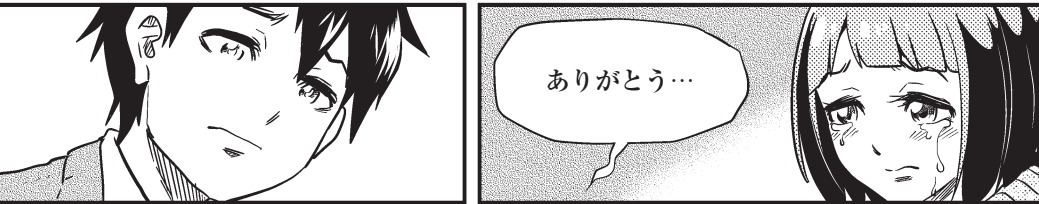
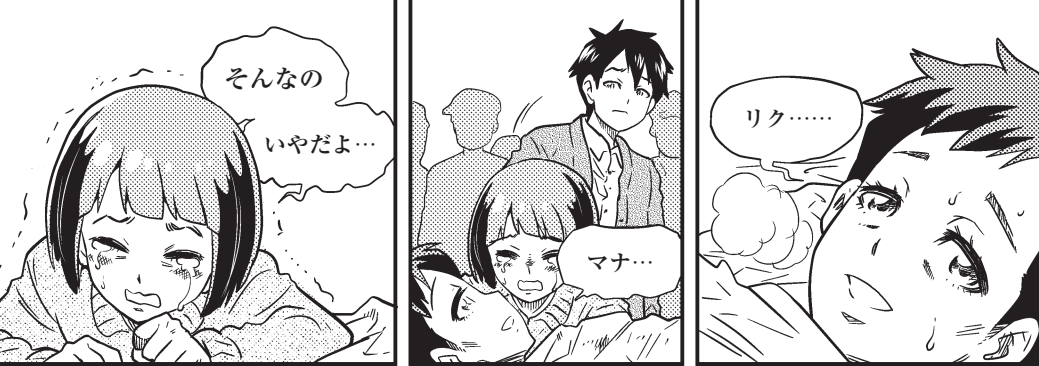






ドメニコって不思議な子だけど…



ドメニコのこと教えてください。ドメニコはオラトリオに来る前どこで何をしていたの？



ドメニコは鍛冶職人の10人の子どもの2番目の息子として、ドン・ボスコの故郷（ベッキ村）の近くで地元の学校に通っていた子だったんだよ。



どうしてオラトリオに来たの？



他の神父の紹介でドン・ボスコに出会い、神父になる勉強をするためにオラトリオに行くことを決意したんだ。



あいつはどうしてこんなにいいやつなんだ？



そうだね…特別な恵みを受けた、生まれつきの良い子であったことも確かだけど、ドメニコは「神様とより親しい関係になりたい！」と自分から積極的に生きていたと思うよ。



一生懸命だったんだね…♡



ドン・ボスコのことをどう思っていたんだろう？



初めて会った瞬間から二人はお互いに対して特別な気持ちを持っていたようだね。ドメニコはドン・ボスコのことを「自分を導いてくれる良い指導者」としてとても尊敬していたんだ。



ドメニコって現代ではどう思われているの？



1954年、死後100年してから、教会の中で彼が本物の聖人であることが正式に認められ、若者のモデルとして多くの尊敬を集めているんだ。

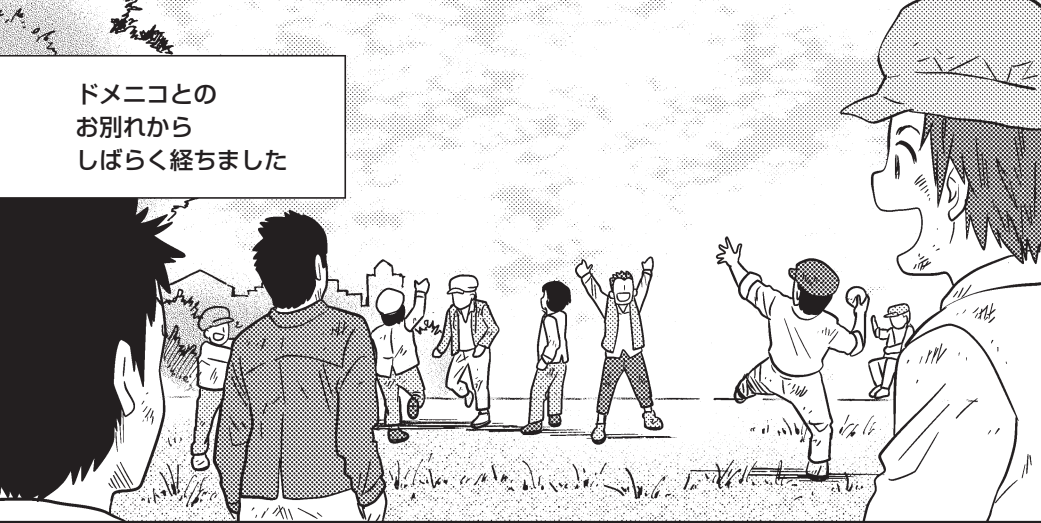


よかった…みんなドメニコのことをずっと忘れてなくて…

chapter 7

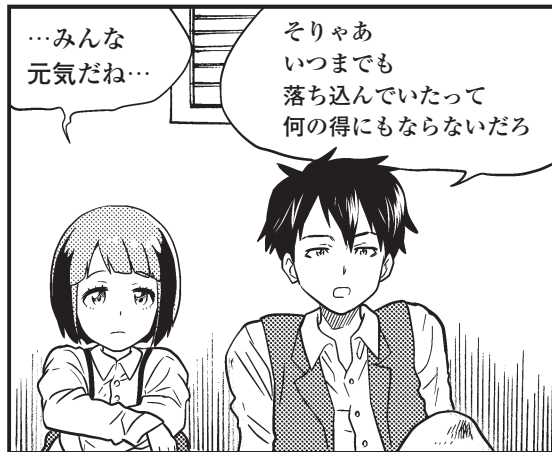
共にいる

ドメニコとの
お別れから
しばらく経ちました



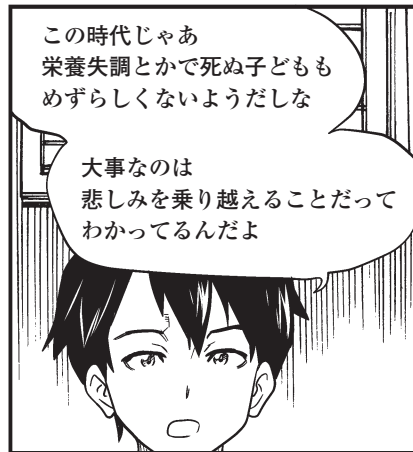
…みんな
元気だね…

そりゃあ
いつまでも
落ち込んでいたって
何の得にもならないだろ



この時代じゃあ
栄養失調とかで死ぬ子どもも
めずらしくないようだしな

大事なのは
悲しみを乗り越えることだって
わかってるんだよ



…そうだね

乗り越えなきゃね

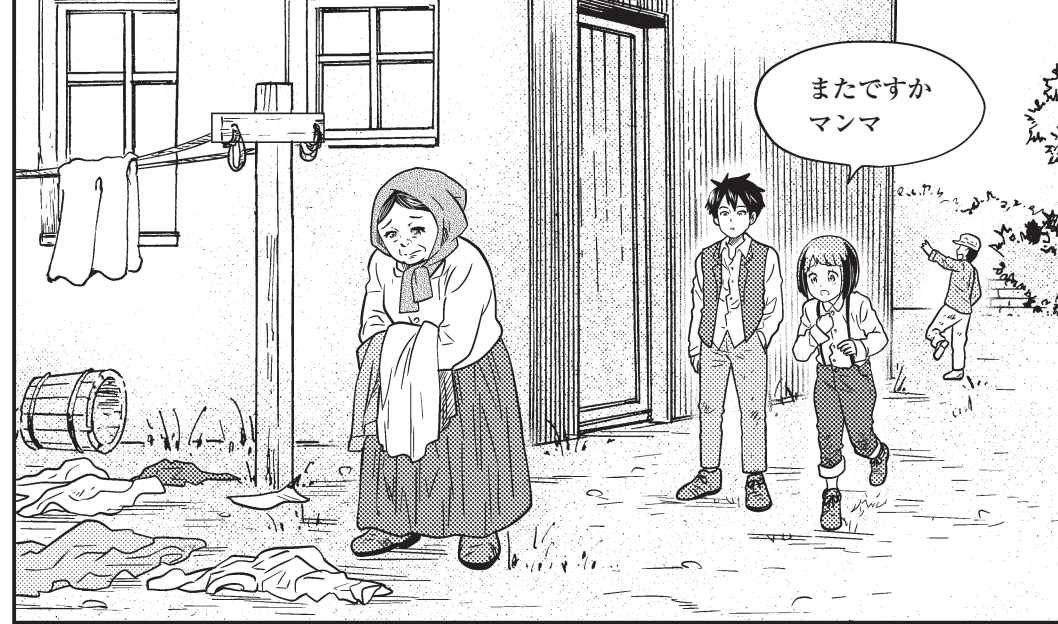


リクも
乗り越えたの？

俺のことは
いいだろ別に…



まあ
なんてこと！

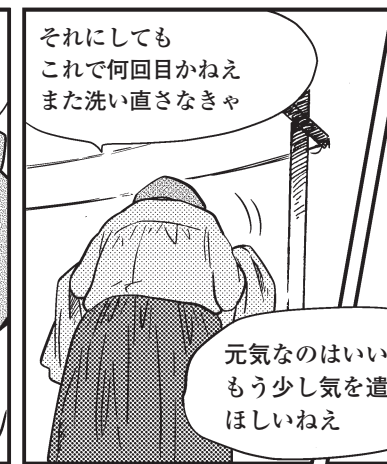


またですか
マンマ

ええ
さっき子どもたちが
この辺で遊んでたから
勢いで落ちたんだろうね



それにしても
これで何回目かねえ
また洗い直さなきゃ



元気なのはいいけど
もう少し気を遣って
ほしいねえ

手伝います



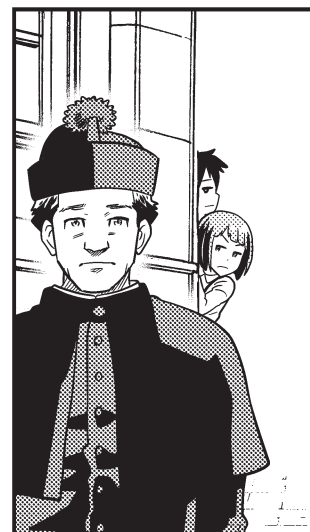
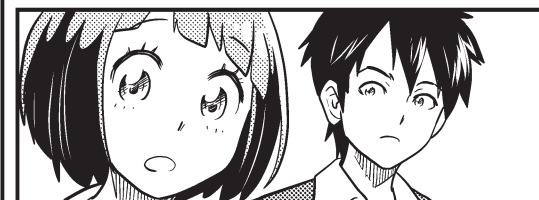
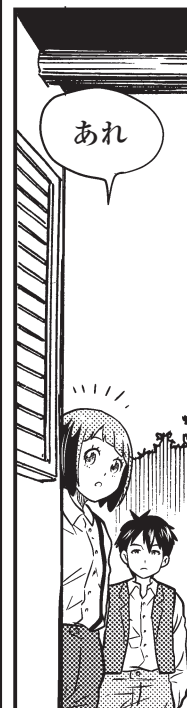
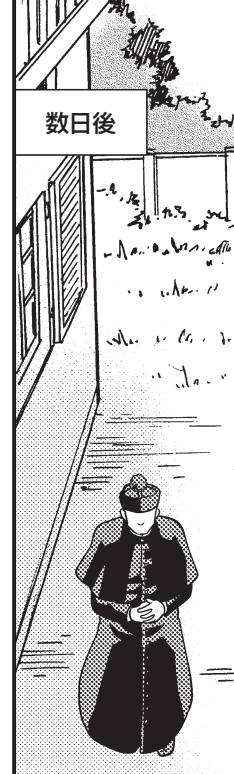
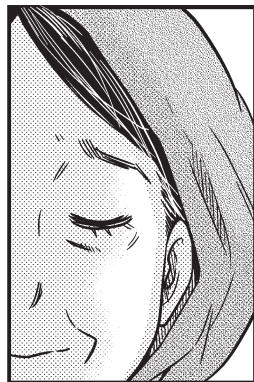
ほんと…

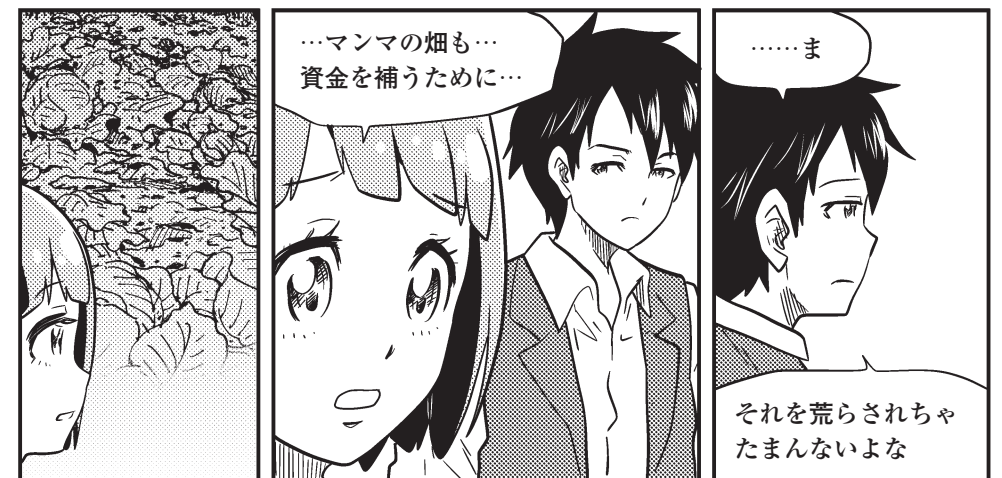
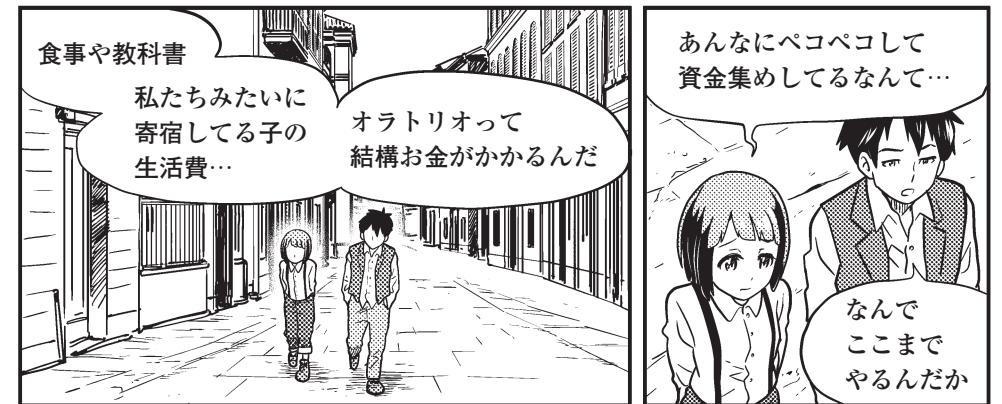
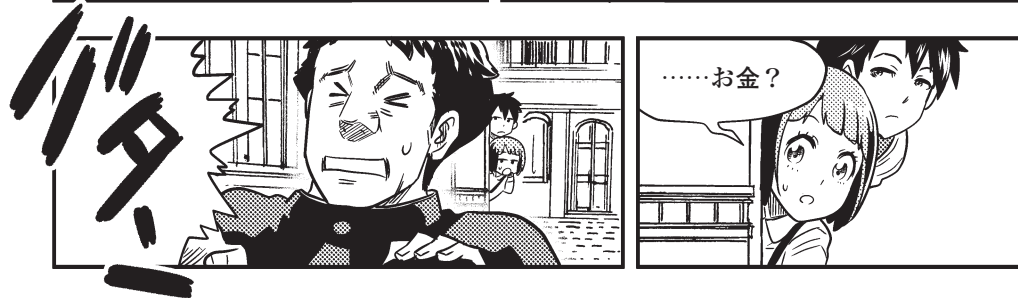
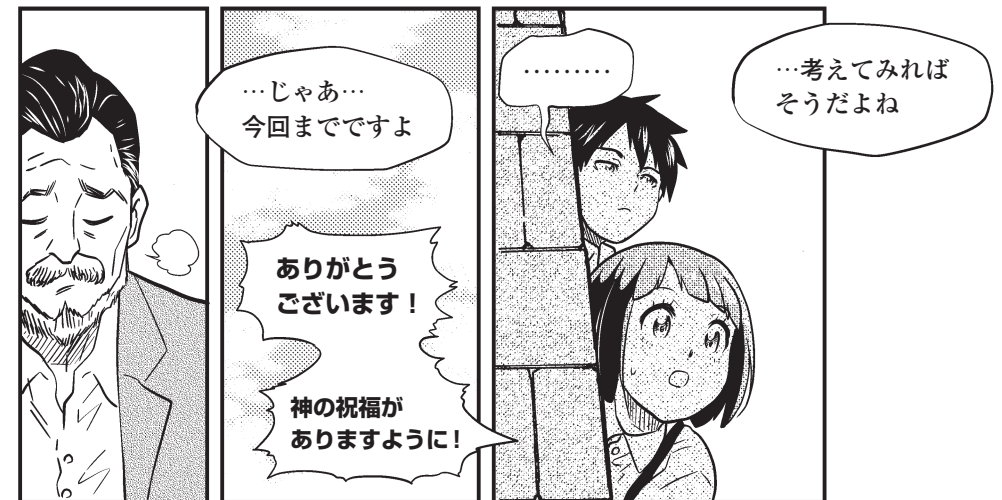


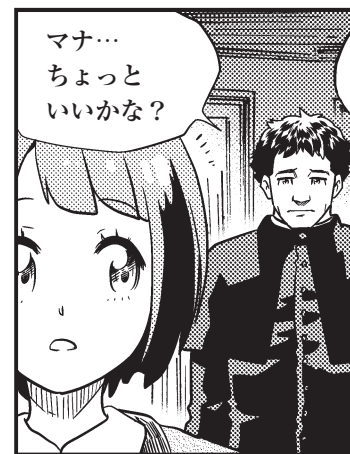
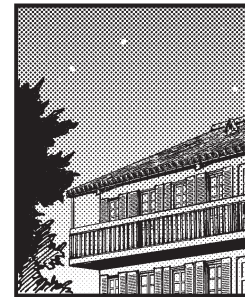
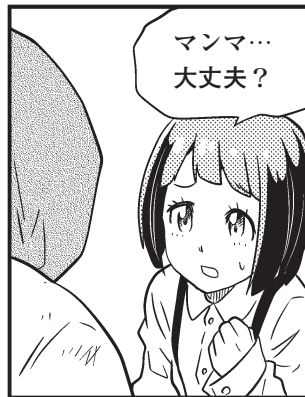
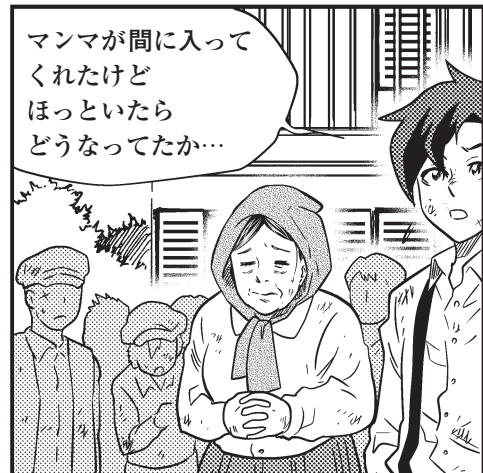
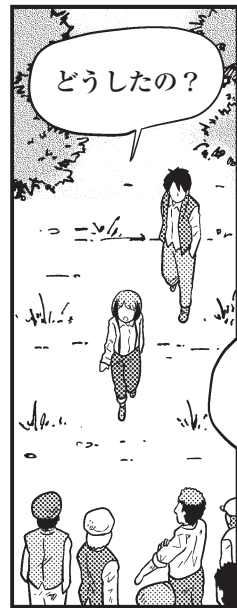
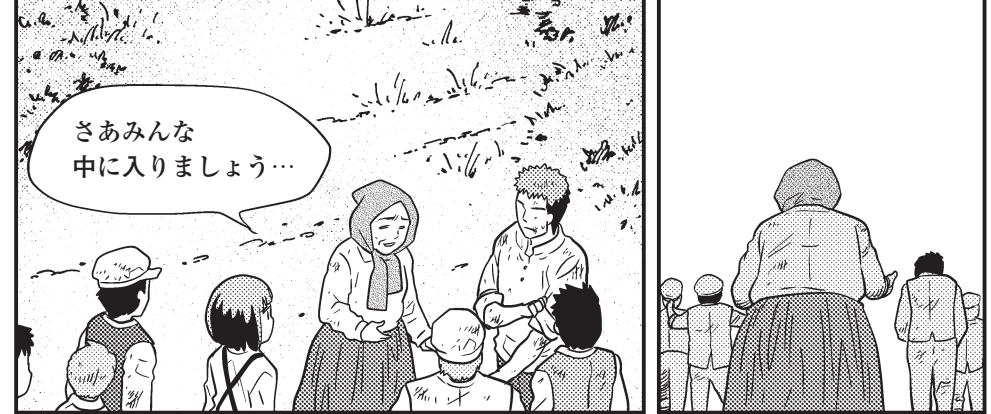
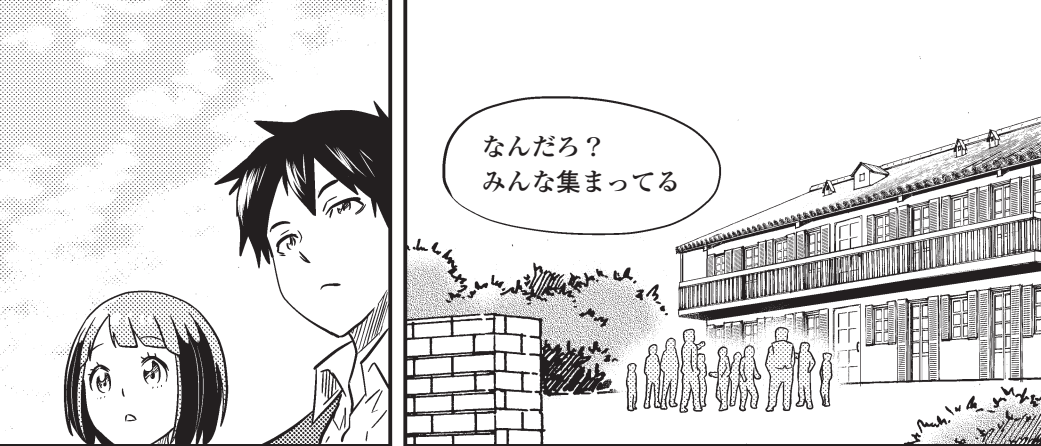
なんだかんだ言って
まだみんな子どもだからな

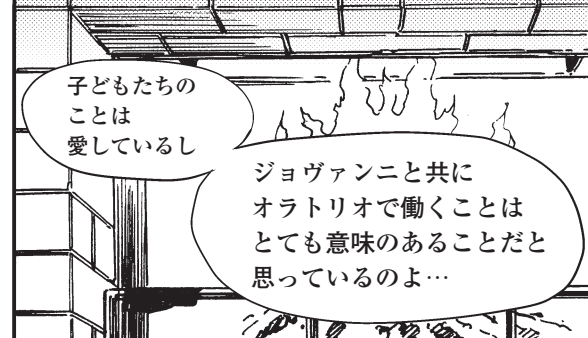
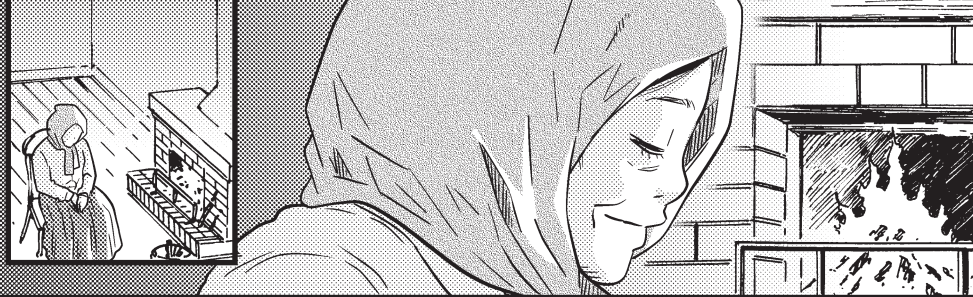


マンマ！
大変だ！









子どもたちの
ことは
愛しているし

ジョヴァンニと共に
オラトリオで働くことは
とても意味のあることだ
と思っているのよ…



でもねえ…
私には荷が重いの
かもしれない



マンマ…!



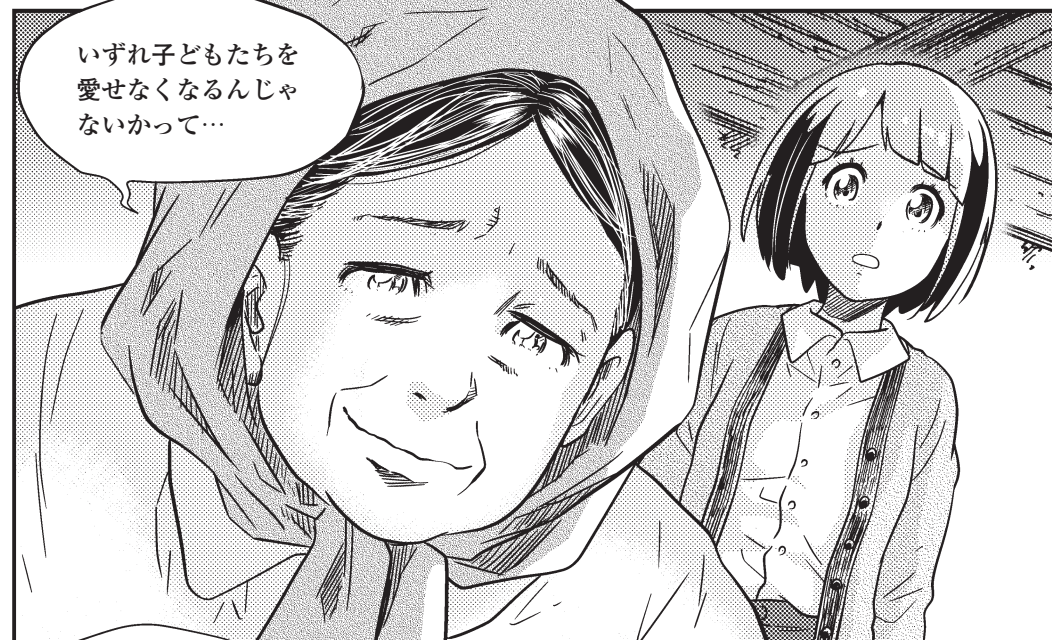
ドン・ボスコから
聞いたよ…



ベッキ村に
帰りたいって…



このままだと…



いずれ子どもたちを
愛せなくなるんじや
ないかって…

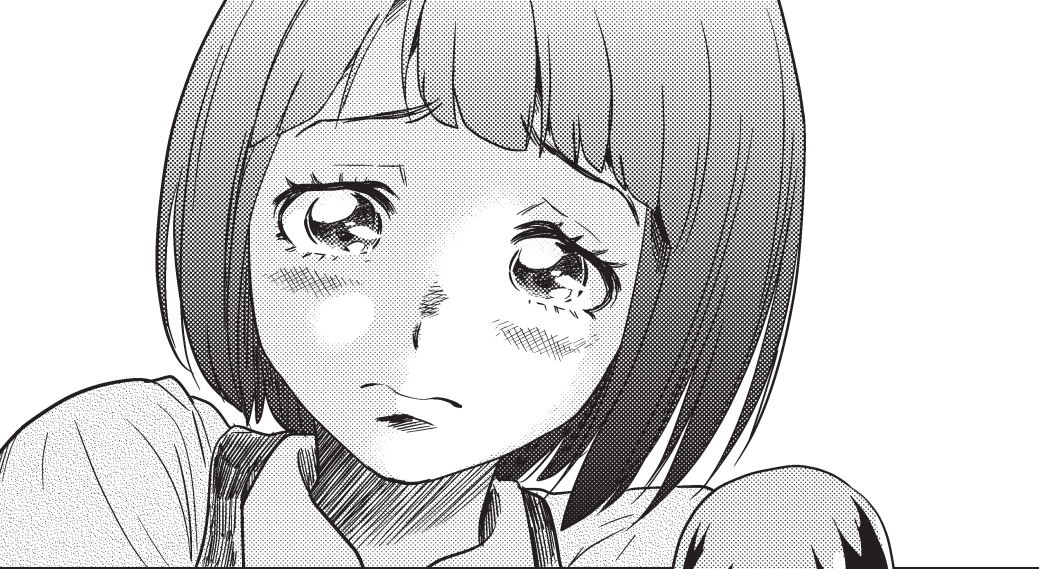


…私はそう
なりたくないの

だから…
ベッキ村へ…?

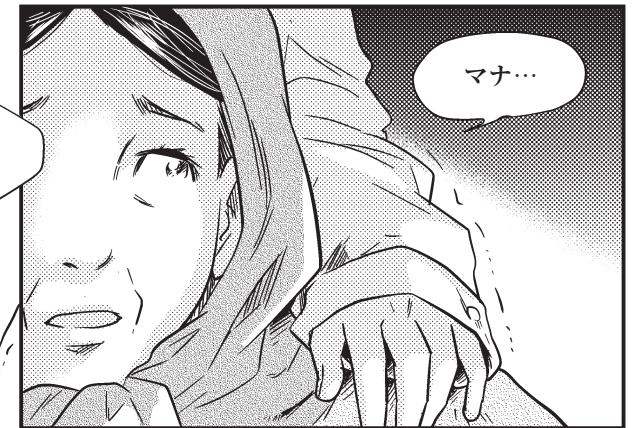


…なんだか
疲れちゃってねえ…



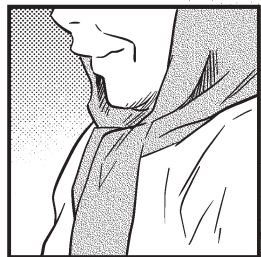
あたしは…
いつでも
そばにいるよ

あたしだけじゃない
みんなだって…

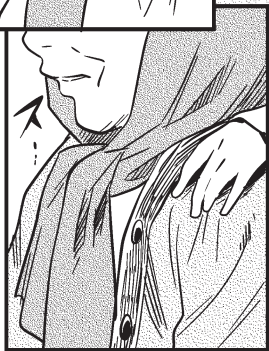


マナ…

…ドメニコもね
あたしが落ち込んでいたとき
こうやって上着をかけてくれた…



マンマ…



ごめんなさい

気づいて
あげられなくて…

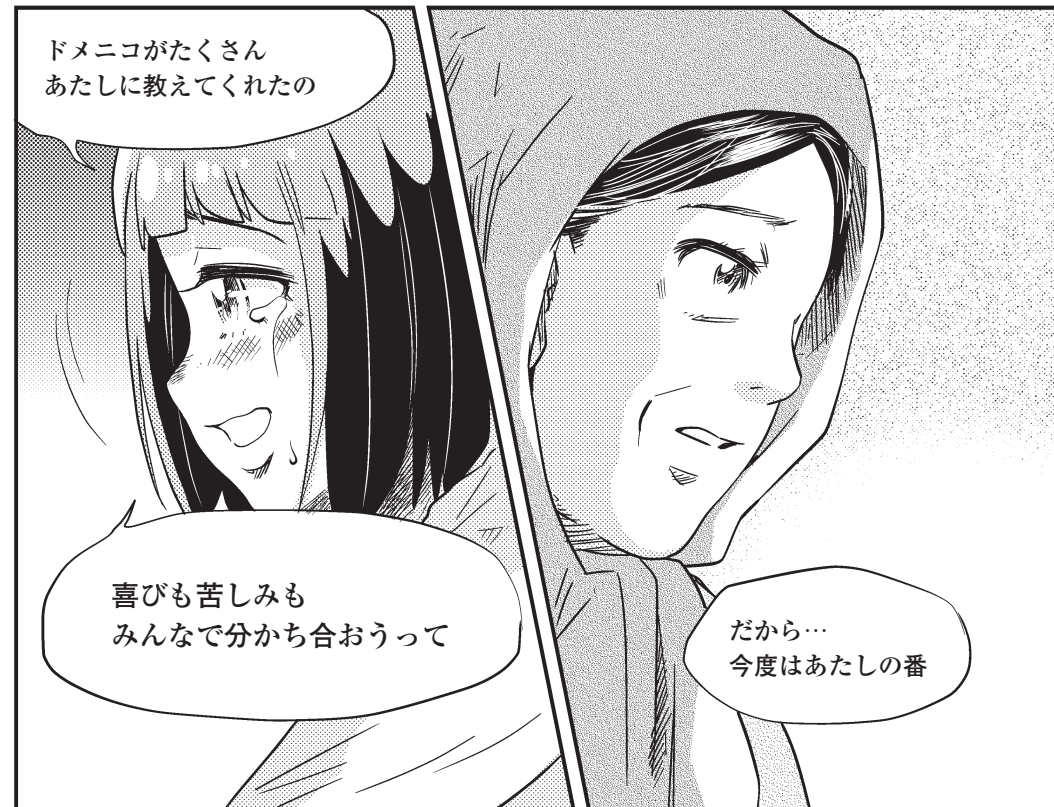
ごめんなさい…



ドメニコがたくさん
あたしに教えてくれたの

喜びも苦しみも
みんなで分かち合おうって

だから…
今度はあたしの番



あたしは
マンマを助ける

マンマと…
一緒にいるよ



マナは
立派な人だ

思いやりがあって…
何より人を信じてる
マナに頼んでよかった…

あいつ……
あんなやつじゃ
なかったのに

成長したんだよ

人は
変われるんだよ

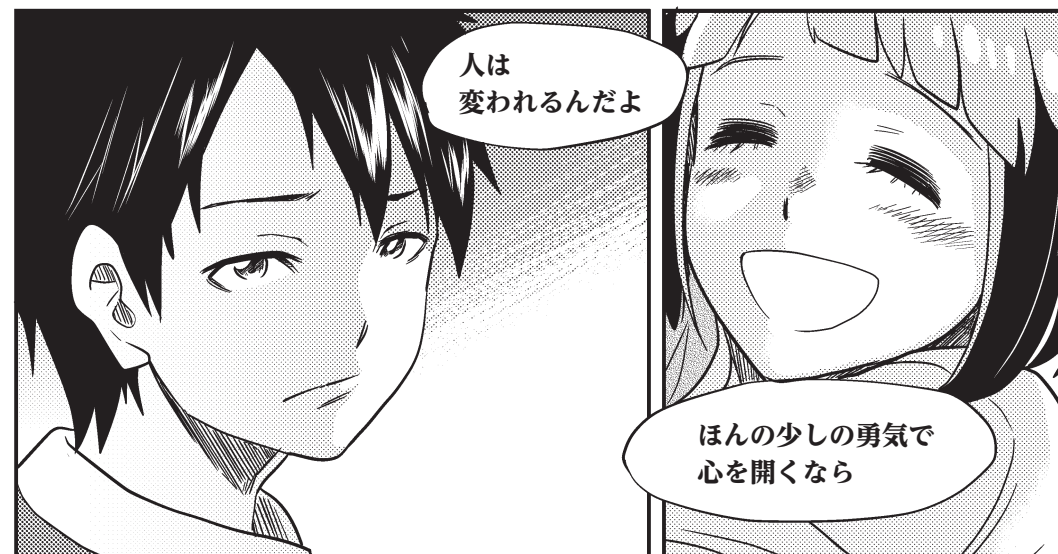
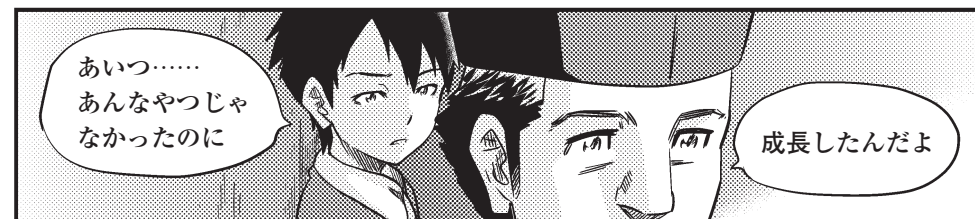
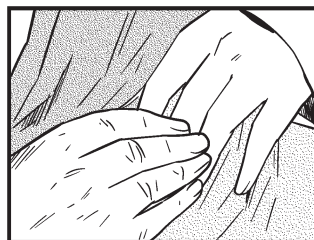
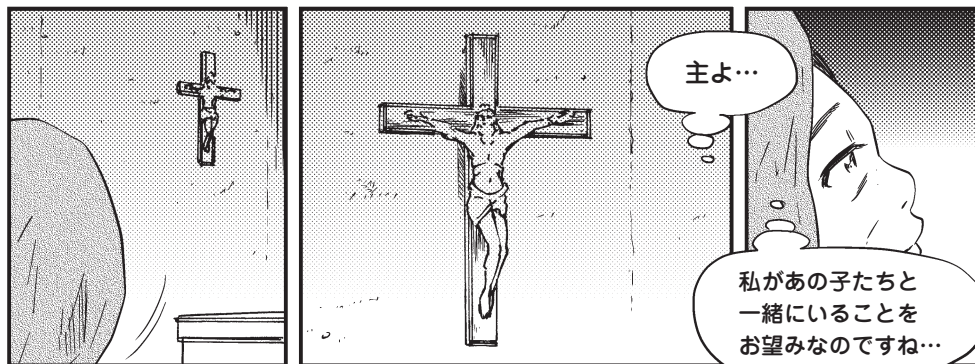
ほんの少しの勇気で
心を開くなら

主よ…

私があの子たちと
一緒にいることを
お望みなのですね…

ありがとう
マナ…

これからも
よろしくね



キリスト教って、 どうして始まったの？



ドン・ボスコもオラトリオのみんなも、そして浦田神父さんもキリスト教の信者なんだよね。



そうだよ。キリストの教えを信じているんだ。



じゃあ、キリストってどんな人だったの？



「キリスト」は名前ではなく^{そんしやう}尊称なんだよ。イエス・キリストは2000年前に今のイスラエルで生まれ、30歳まで大工をし、その後「神の国は近づいた」と言って、神のメッセージを伝えはじめた。やがて、その行動がユダヤ教の上層部から反感を買ってしまい、十字架刑に処せられてしまうんだ…でもね、その3日後に復活したと信じられているんだよ。キリスト教徒は、イエスを神の子、救い主と信じているんだ。



すごい人なんだね。



あたりまえだろ、お前そんなことも知らなかったのかよ。



えへへ。マリアという人は？



マリアはイエスのお母さんのことだよ。ある日、天使からお告げを受けてイエスを生み、育てた聖母なんだ。イエスの教えをもっとも忠実に行った弟子であるということも言えるね。そのため、イエスを信じるすべての人の母とも言われているんだよ。



キリストには弟子がいたよな。それはどんな人たち？



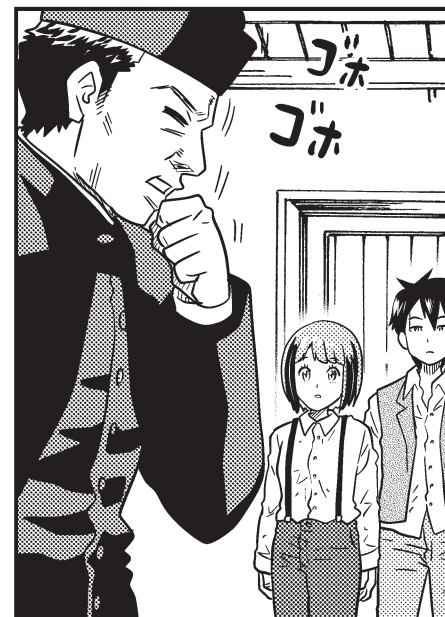
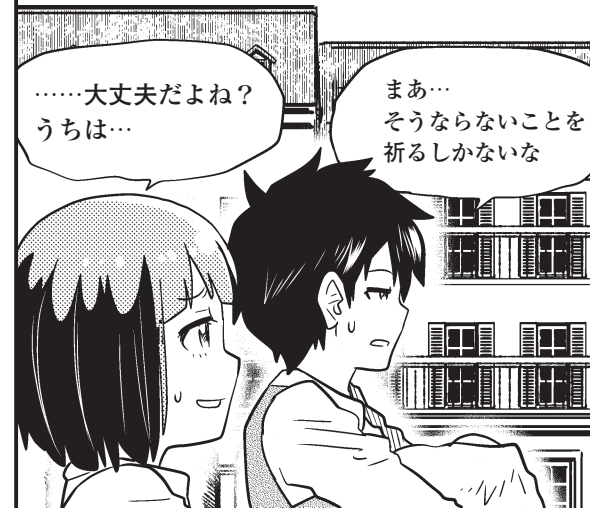
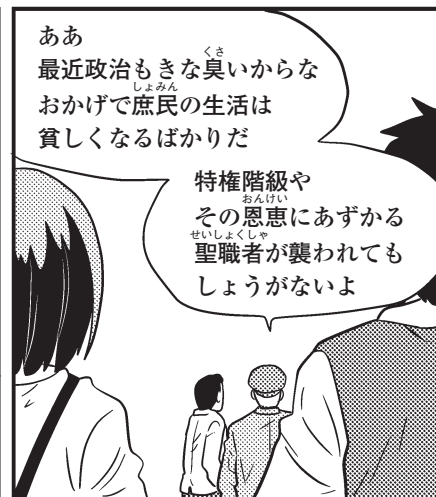
多くの弟子たちがいたけど、その中心となる人物たちは漁師たちだったんだ。その他にもさまざまな経歴と過去を持つ人たちが集まったんだよ。元徴税人とか…立派な人ではなく、どちらかといえば無学な人、弱い立場にある人たちを中心に弟子にしたんだ。



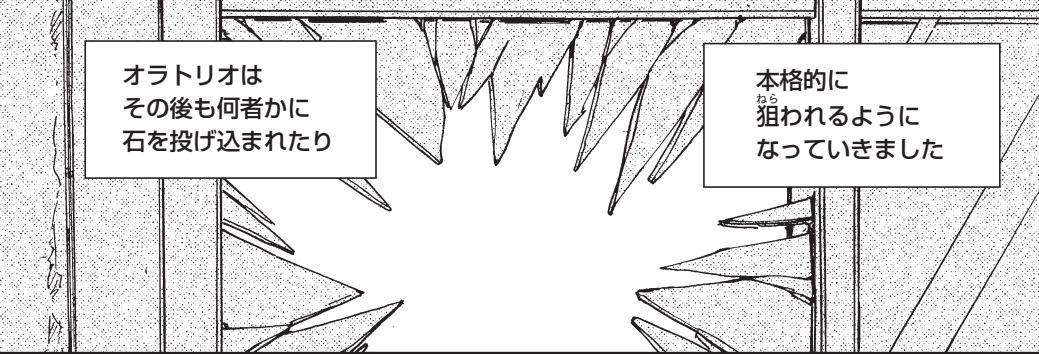
いろんな人がキリストの周りに集まっていたんだね！

chapter 8

守りぬく







オラトリオは
その後も何者かに
石を投げ込まれたり

本格的に
なら
狙われるように
なっていました



デ・シリオ侯爵
お願いします

私たちは
革命を起こそうなどと
考えてもいません

なんとか警備の者を
つけてはいただけない
でしょうか



それは
どうですか？



何度も言いますが
私としては
オラトリオの集会を
許可したくないのです

ましてや
警備など…

ですから…！

私の集会は
政治とは関係ありません！

そうだとすると
…それを信じない
民衆がいるのです

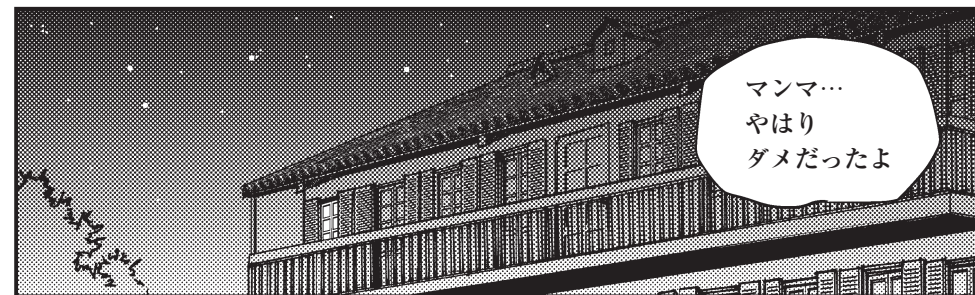
いまだに警察には
オラトリオへの苦情が
絶えませんか！



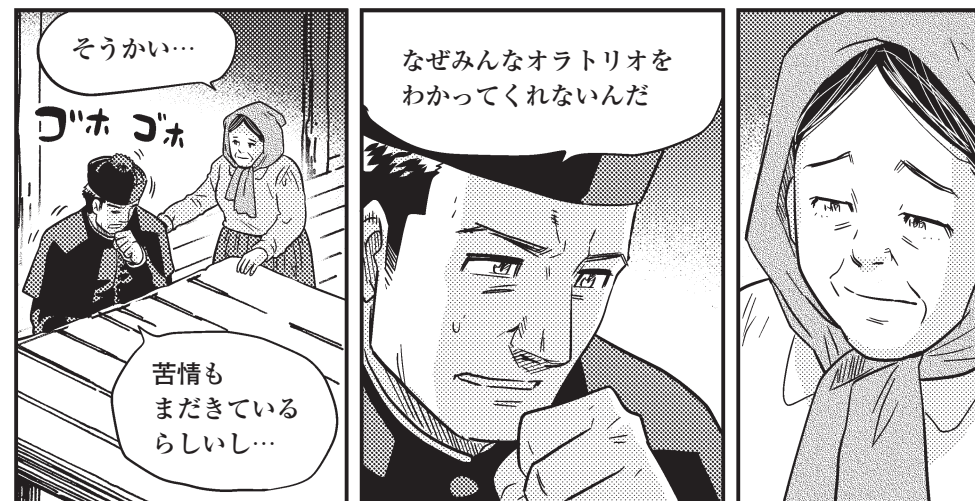
………！

おとなしく…

オラトリオを
解散させたほうが
身のためだと思いますがね



マンマ…
やはり
ダメだったよ

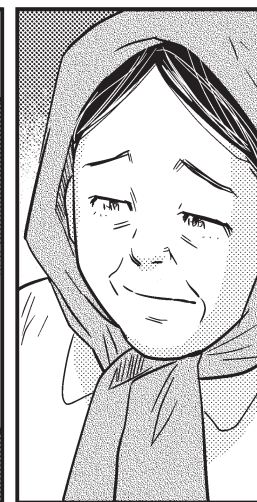


そうかい…

ゴッホ ゴッホ

苦情も
まだきている
らしいし…

なぜみんなオラトリオを
わかってくれないんだ





しかし…
その願いとは逆に

事態はますます
悪化していききました



ドン・ボスコ!!

俺たちは特権階級の人間たちに
守られてめくめくと贅沢^{ぜいたく}をしている
聖職者を許さない!

そしてこのオラトリオも!
子どもたちを集めて社会の秩序^{ちつじょ}を
混乱させようとしている!

なんて
デタラメだ...

俺たちは
世の正義のために戦う!
出てこい!

なにが正義だ
ふざけるな

ドン・ボスコ
出て行くことは
ないですよ

俺たちがあいつら
ボコボコにして
二度と
あんなデタラメ
言えねえように
してやる

なあ
カルロ

ああ...
今こそ恩を返す
時だ...

みんなも
戦うだろ?

今までさんざん
世話になってるんだ

今度は俺たちが
ドン・ボスコを
守るぞ

.....
どうしよう...

なんか
とんでもない
ことに...

ちょっと
待ってよ

ここには まだ小さい子
だっているんだ

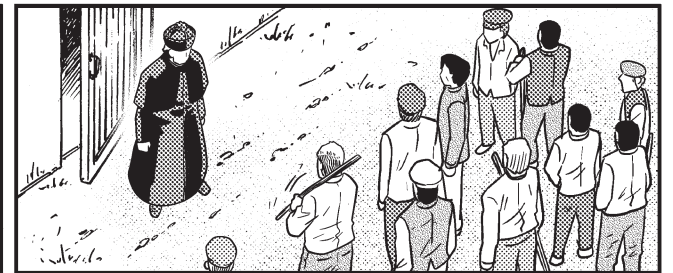
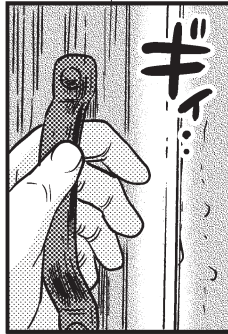
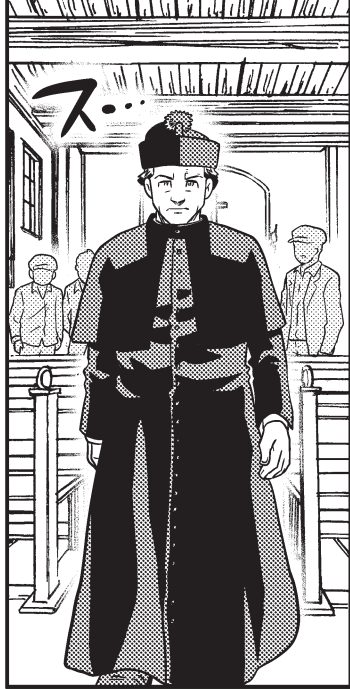
戦うのは
反対だ

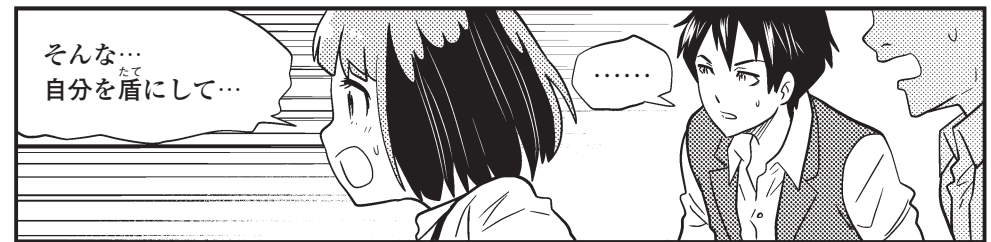
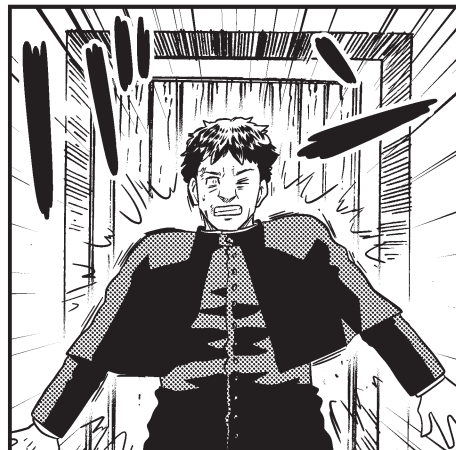
じゃあ
やれるやつで
やるよ

今までの
嫌がらせ...
あいつらは
許せねえ

ジョヴァンニ...

.....







くそ…！
なんだって
ここまでガキどもを
かばうんだ

何か
見られたくないものでも
中にあるんじゃないか？



ふん
愛情だと？

厳しく
しつけてやらねえと
ガキどもは善悪の違いも
わからねえんだ！

そうだ
そうだ！



そんなものは
ない…

オラトリオは…

行き場のない子どもたちが
心から安らげる家なのです



だがあなた方が
暴力に訴える限り…

子どもたちには
指一本触れさせない！



それは違います



たしかに彼らは
若さゆえに
間違った行動を
よく起こします

しかし同時に彼らは
苦しんでいるのです

生きる喜び
心の平和
愛情に飢えているのです



"自分は愛されている"と
実感できるなら

彼らは人を信じ
人の幸せのために生きることが
できるようになる

彼らには
信じてくれる大人がいることを
わかってもらいたいのです



…へっ
そんなに
ガキどもが
大事かよ

ギャーギャー
うるせえだけで
なんの役にも立たねえ



…あなたは
子どもたちとちゃんと
話をしたことがありますか？

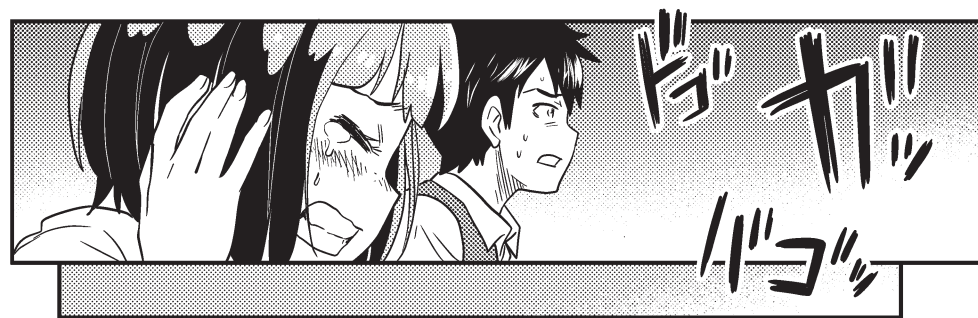


今の時代 彼らは
とても生きづらい
環境にいます

話を聞いて
ごらんさい

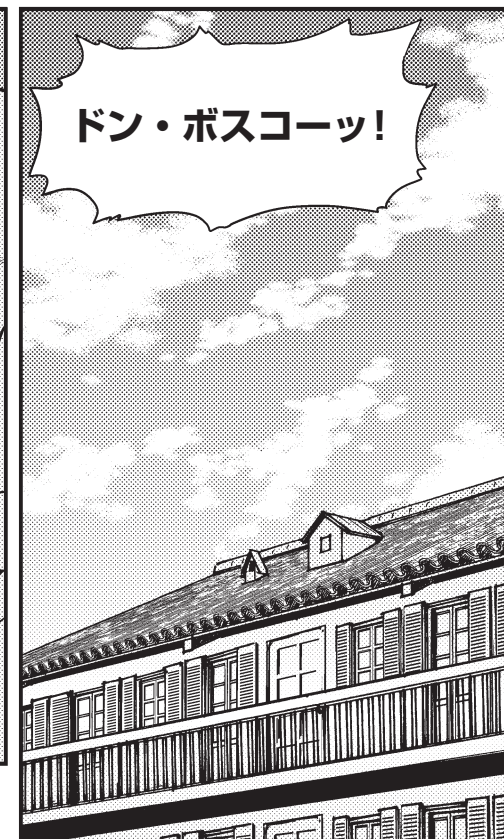
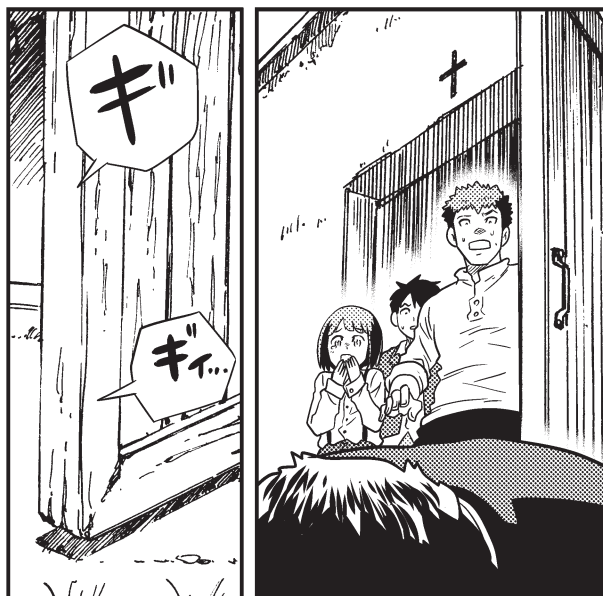
彼らは救いを
求めています

つまり愛情を
欲しているのです



やがて...

気が済んだのか
暴徒たちは
帰っていきました



キリスト教徒って、 どんなふうに住生活するの？



「キリスト教」のことをもう少し教えて！



キリスト教はイエス・キリストを救い主として信じる宗教のこと。世界では20億人以上が信仰しているんだ。



日本では？



現在の日本では人口の約0.8%にあたる100万人ほどが信仰しているよ。



「キリストの教え」って何？ 何か決まりごととかあるの？



することが望ましいことはいろいろあるよ。祈ること。聖書を読むこと。日曜日を聖なる日とすること。でもイエスは最も大切な掟は「神を愛することと、人を愛すること」だと言っているんだ。



気になるんだけどさ、祈り方ってどうやるの？



決まった言葉もあるけど、大切なことは神様に感謝と賛美をささげて、神様と深くつながることだから、言葉は自由に唱えてもいいよ。イエスが唯一教えた祈りは「主の祈り」だけなんだ。



浦田神父さんは、どんなふうに住生活してるの？



僕はサレジオ会といって、ドン・ボスコが1859年に創立した修道会に所属しているよ。修道会とは、カトリック教会の中で独自の共同生活を送る組織のことで、僕たちサレジオ会員は特に「より貧しい若者たちのために」教会や学校・福祉施設などで働いているんだ。



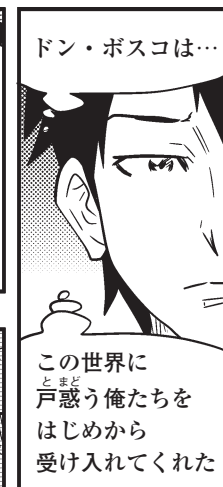
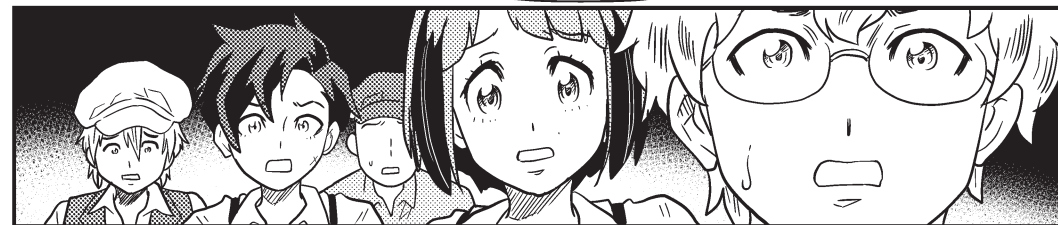
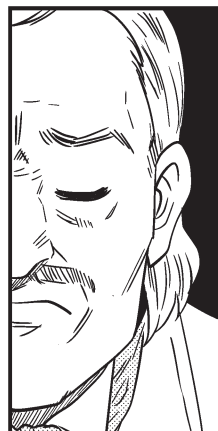
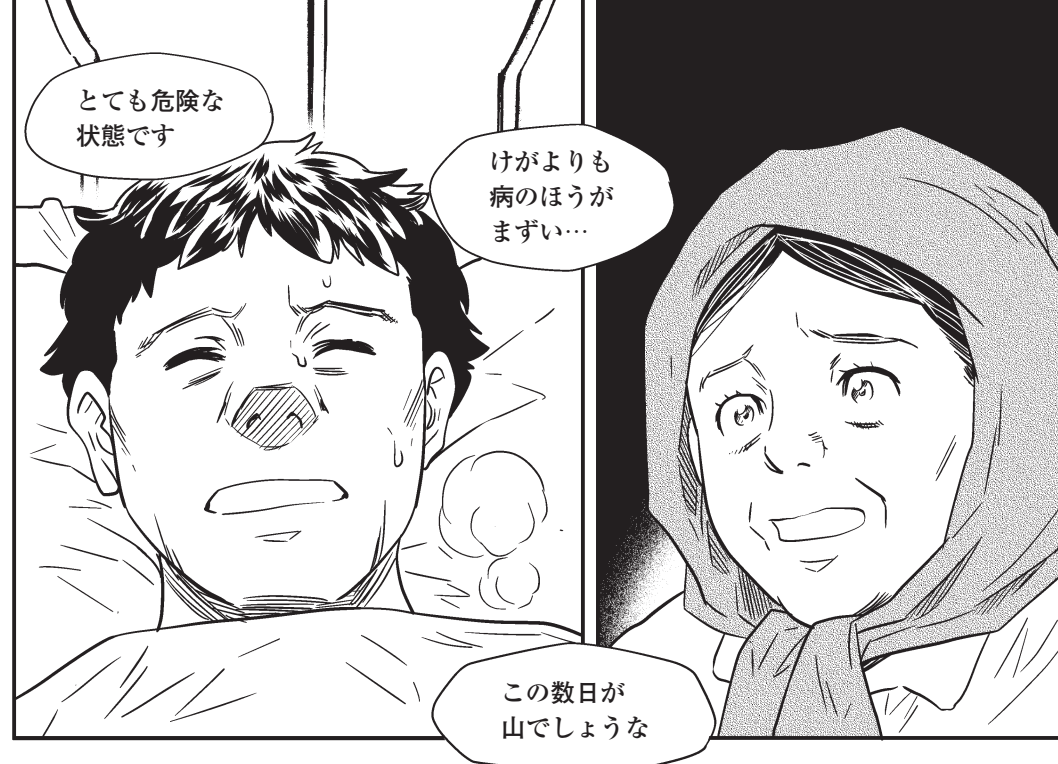
浦田神父さん、いろいろ答えてくれてありがとう！



もっと知りたくなったら、いつでも聞いてね！

chapter 9

祈り





もし困っているなら
オラトリオに来るかい？

言っただろう？

私たちは
友達だって

みんなで愛の行いを
しにこう！

本当の心からの友達を
もつことがどんなに
大切かを知ったんだ

そして…俺たちは
ドン・ボスコという
人間を見続けてきた

コラッジョ!!
(勇気を出して)

私も君と
一緒にいる

ここがみんなの
オラトリオだ！

彼らには
信じてくれる大人がいることを
わかってもらいたいのです！



俺たちの時代にも
ドン・ボスコと同じような
ことを言う人間はたくさんいる

でも…ここまで
傷つくほどに
自分を投げうって

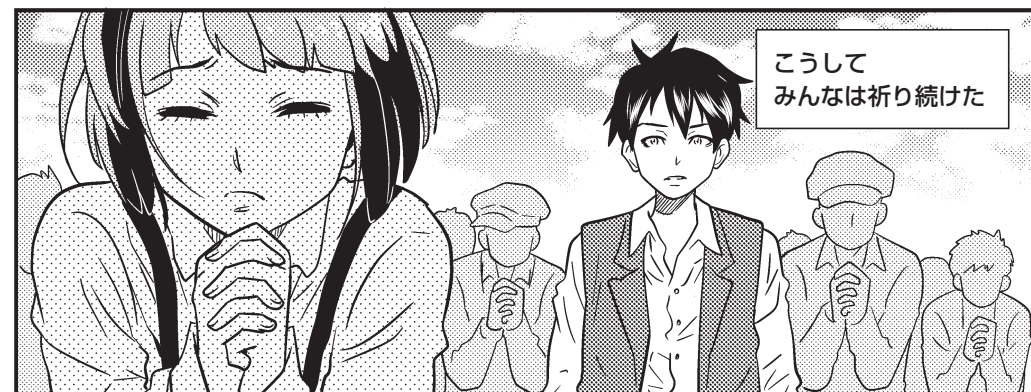
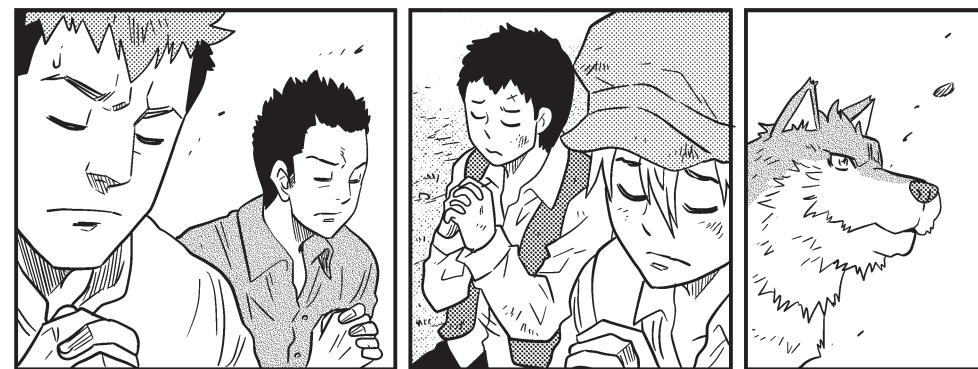
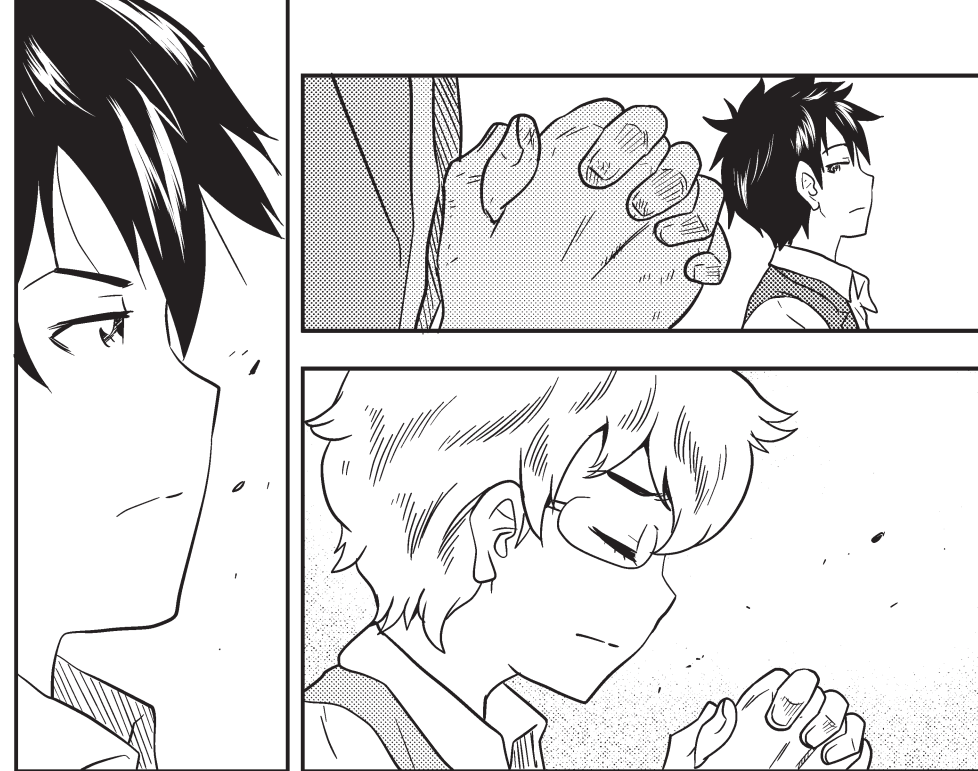
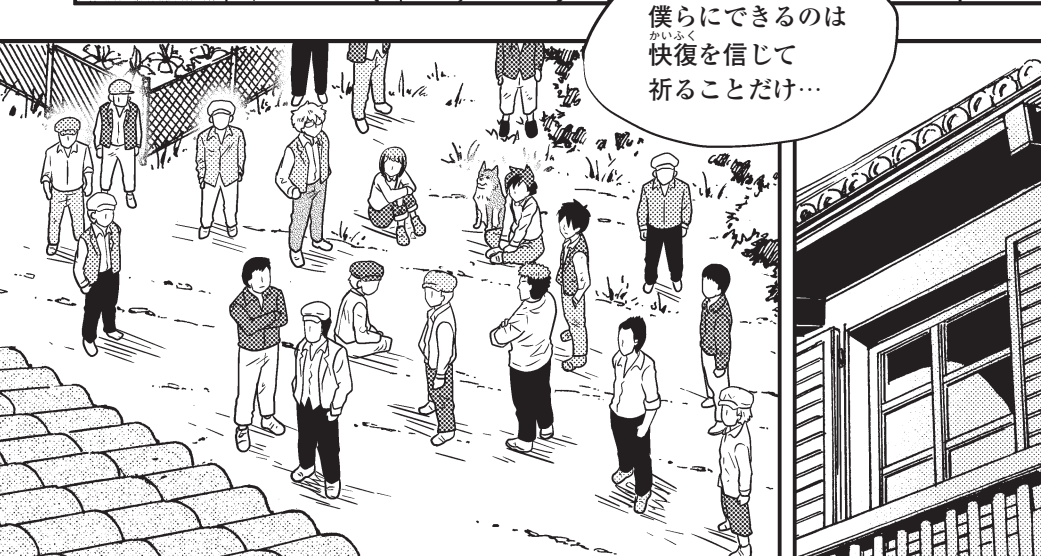
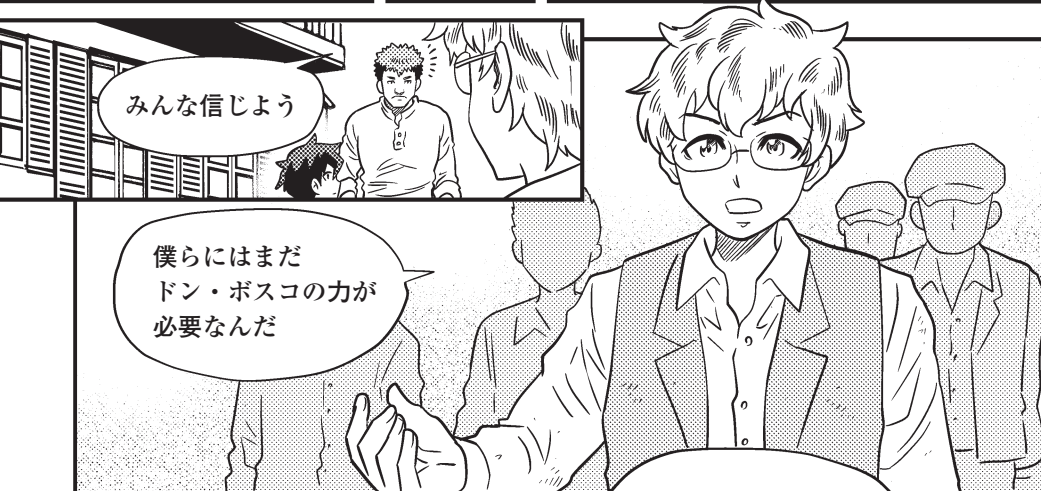
他人のために
生きる人が
いるだろうか



……オラトリオ

どうなっちゃう
んだろう…

もしドン・ボスコが…
いなくなったら…

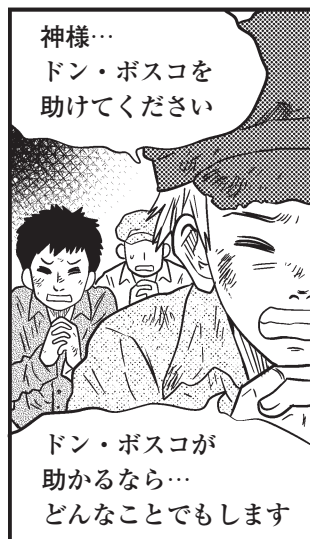




次の日も



そして
ドン・ボスコを知る
街の若者まで
次々とやってきた



神様…
ドン・ボスコを
助けてください

ドン・ボスコが
助かるなら…
どんなことでもします



その次の日も



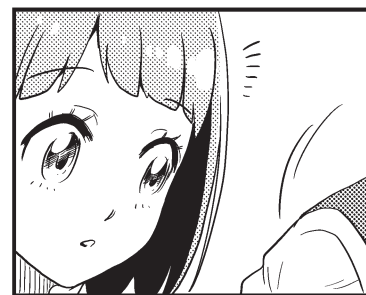
ある若者は
一生パンと水だけで
過ごすと言い

中には
ドン・ボスコが
快復するまで
水を一滴も飲まない^{いつまで}と
宣言する若者までいた



ドン・ボスコを知る
多くの若者が

ドン・ボスコのために
祈りをささげ続けた



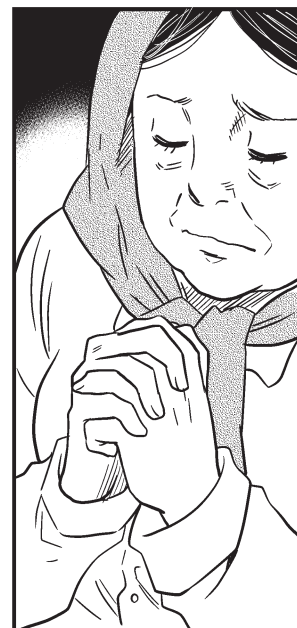
リク…



とりあえず
世話には
なったからな



どうやって
祈ったらいいか
わかんないけど…

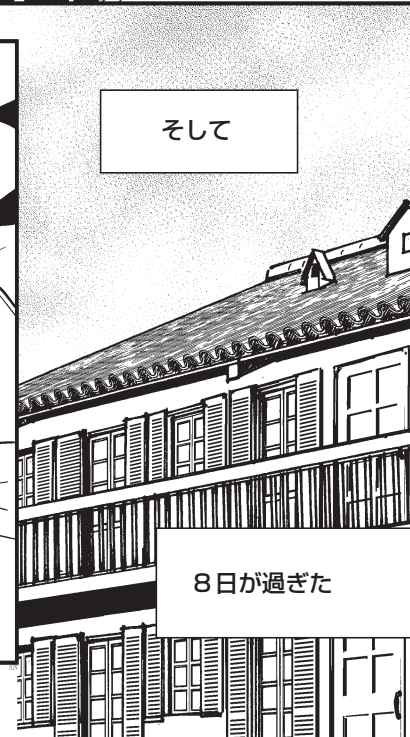


ジョヴァンニ…

あなたの
子どもたちは…

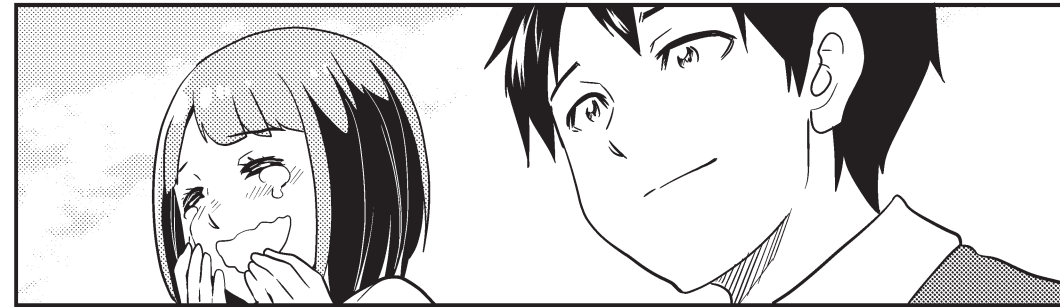
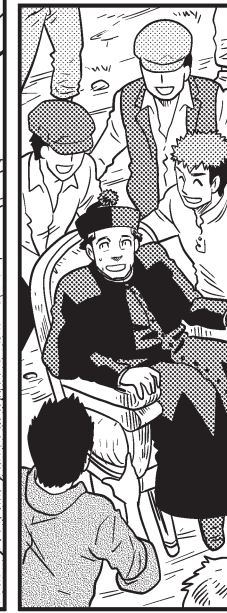
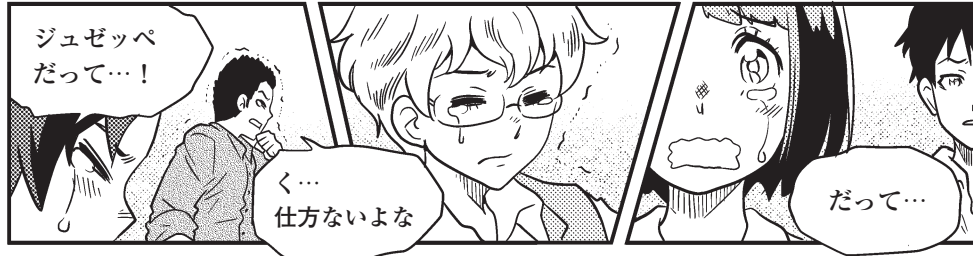


ずっとあなたを
待っているわ



そして

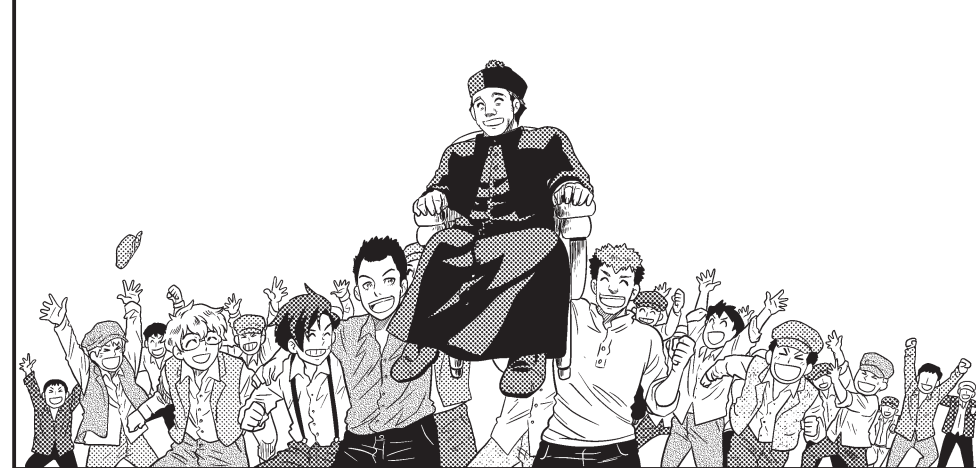
8日が過ぎた



約束する

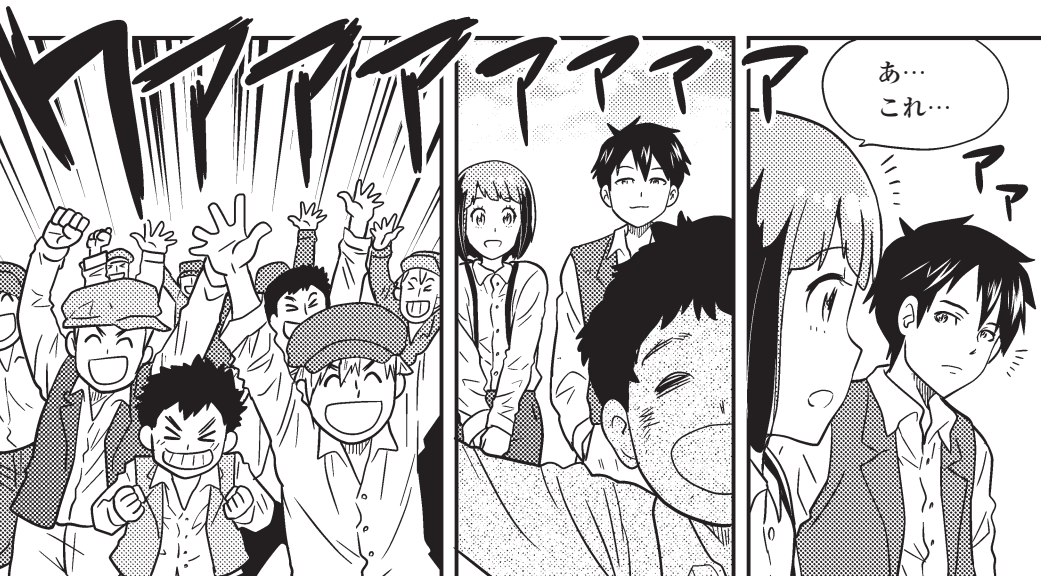
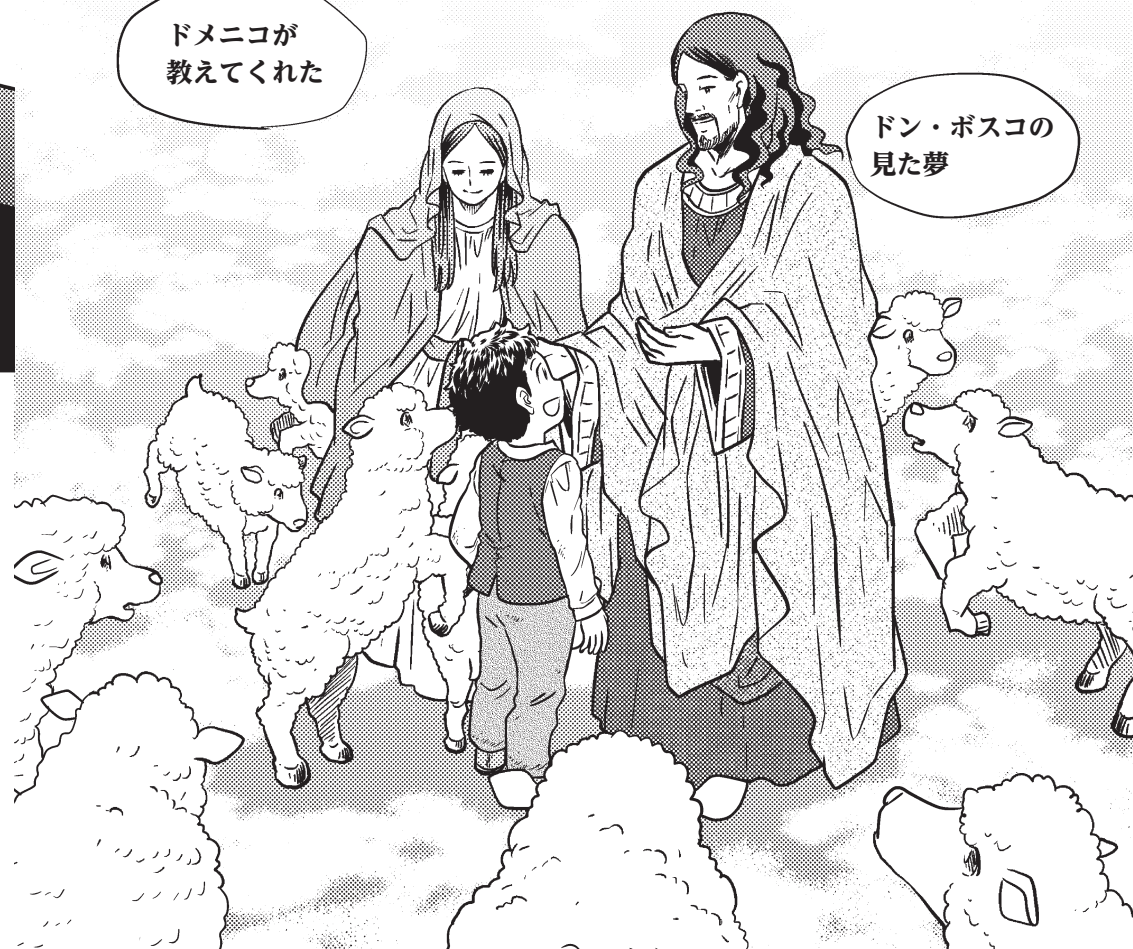
これから先

私の命すべてを
君たちのために使おう



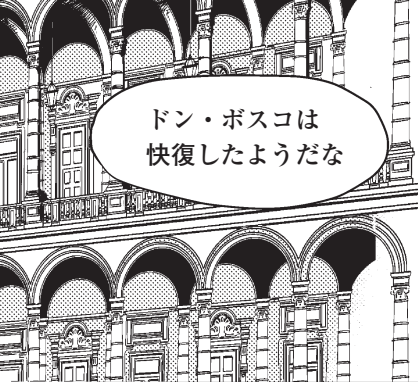
ドメニコが
教えてくれた

ドン・ボスコの
見た夢



epilogue

出発



ドン・ボスコは
快復したようだな



ええ
街では子どもたちが
奇跡を起こしたんだと
噂になっています



気のせいかな
ここ数日苦情も
減っているようで…

ガキどもの思いが
ドン・ボスコとオラトリオを
救ったか…



とりあえず
花の一つでも
送ってやれ

は？

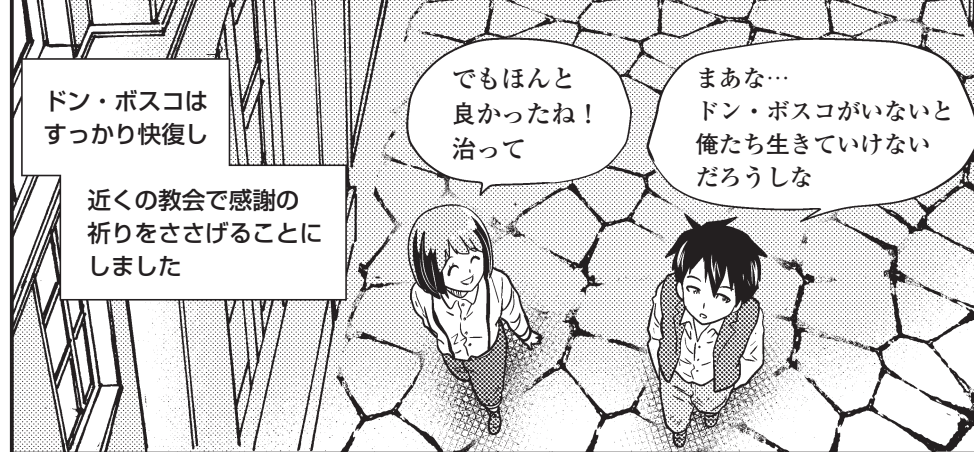


彼とはこれからも
向かい合うことにな
るだろう

あいさつ
挨拶
代わりだよ



ん〜
いい天気



ドン・ボスコは
すっかり快復し

近くの教会で感謝の
祈りをささげることに
しました

でもほんと
良かったね！
治って

まあな…
ドン・ボスコがいないと
俺たち生きていけない
だろうしな



それにしても
今日はなんだか
みんな足が速いなあ

どんどん
遠くに行っちゃう



おーい
リク

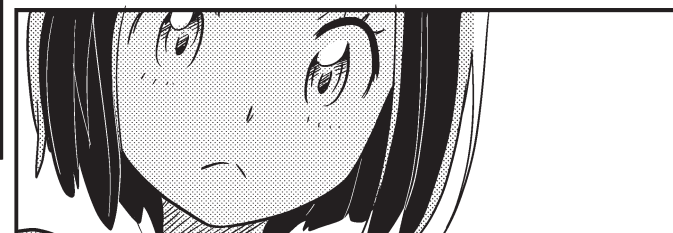
マナ

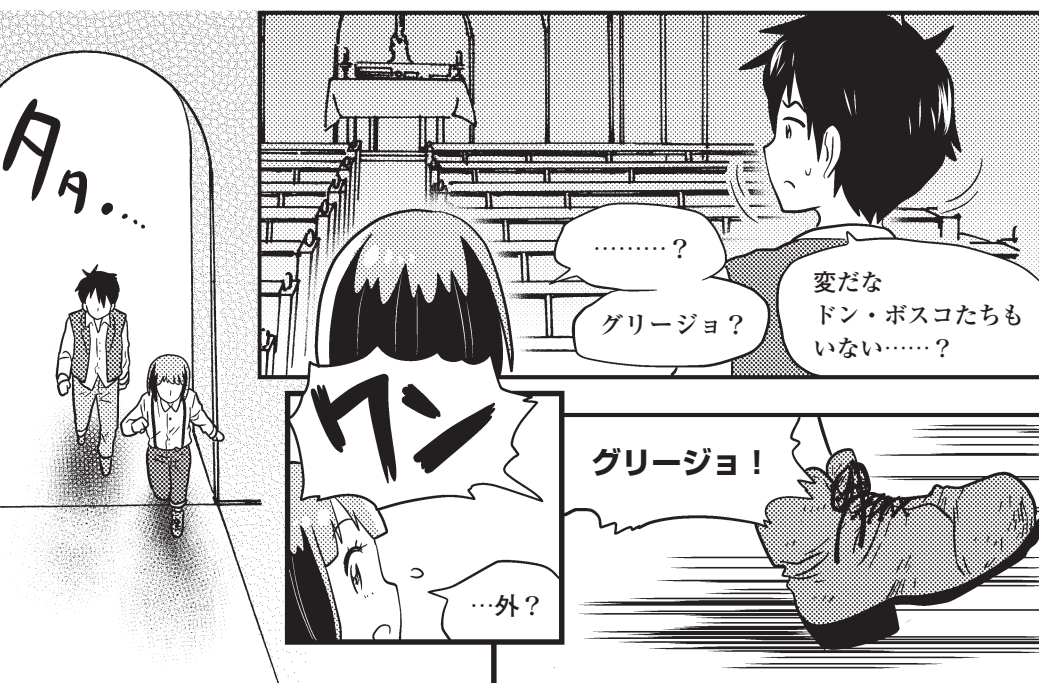
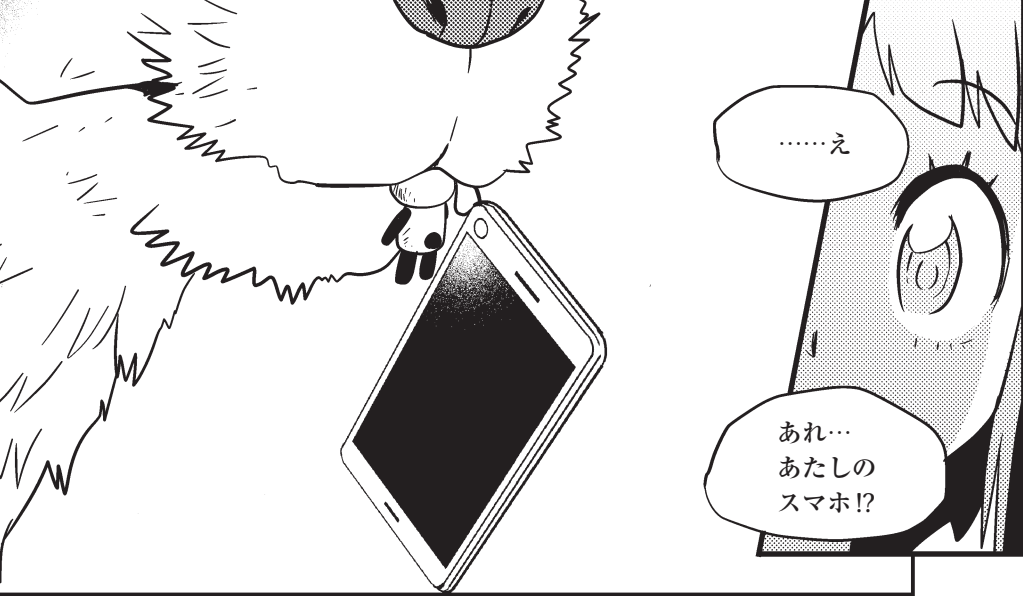
こっちこっち

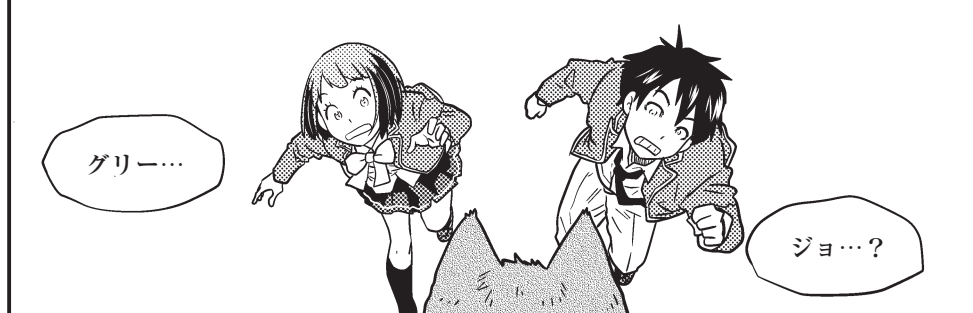
あ
はい



あら
グリージョ？

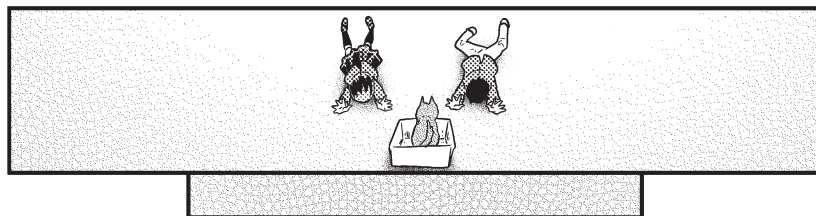






グリー...

ジョ...?



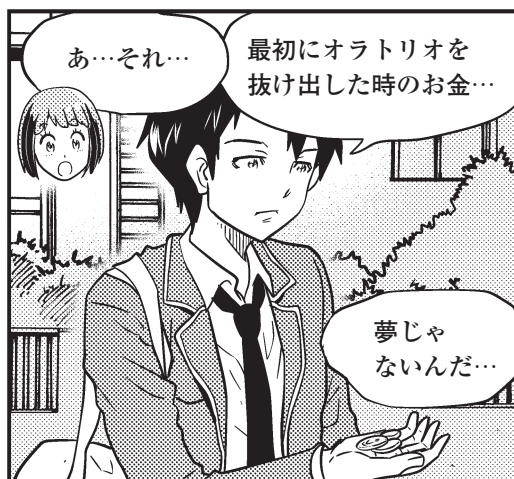
...おかしいよな

俺たちがドン・ボスコの
世界へ行ってたのに
全く時間が経ってない



二人で
同じ夢とか
見てたのかな

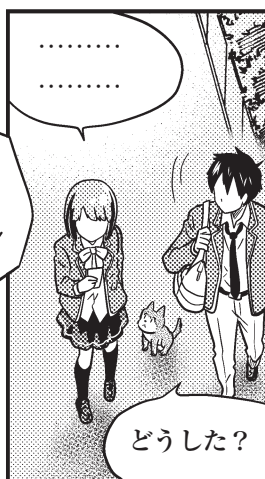
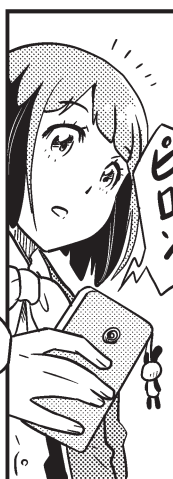
そうでも
ないな



あ...それ...

最初にオラトリオを
抜け出した時のお金...

夢じゃ
ないんだ...



どうした?



ミカ...

ちょっと
言い過ぎたって...



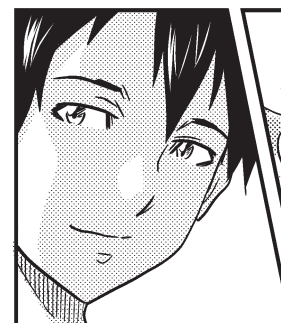
何?
また友達に
戻るの?

ん...
わかんない



でもあたしにも
原因があったし...

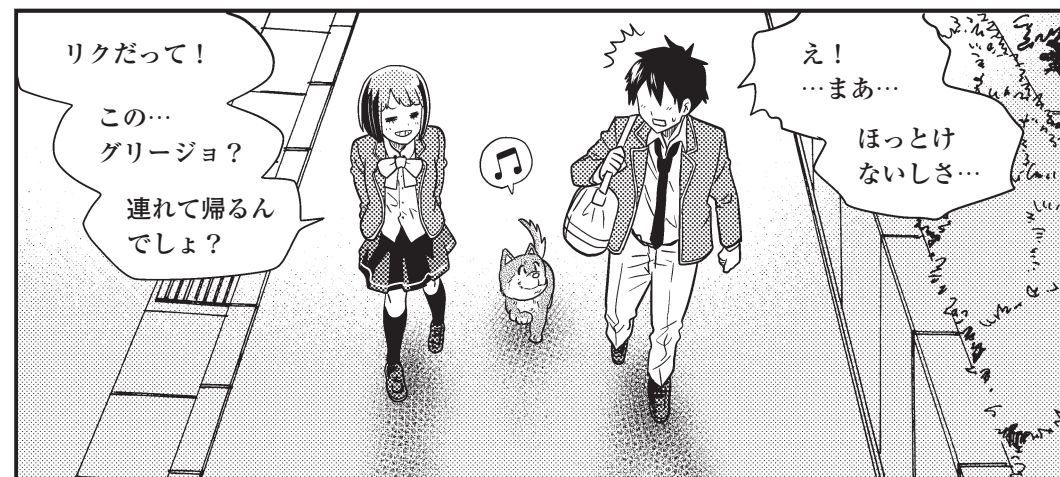
信じて
みたいなって...
気もする



いつのまにか
成長したねえ
ドン・ボスコの
おかげかなあ



そ...そんなんじゃ
ないけど!



リクだって!

この...
グリージョ?

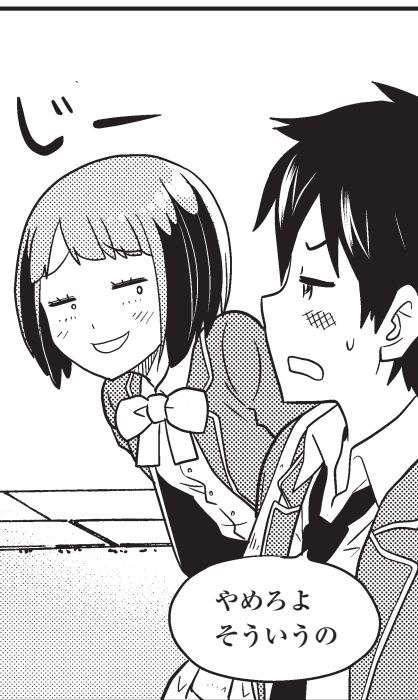
連れて帰るん
でしょ?

え!
...まあ...

ほっとけ
ないしさ...

…ここまで俺たちを
導いてくれたんだ

だから
まあ…一応な



やめろよ
そういうの

そんなに
すぐに生き方を
変えるなんてできないけど

今はただ
信じて
生きてみよう…

いつの時代も

生きることに
苦しむ人は大勢いる

でもドン・ボスコは
示してくれた

あ…そういや
うちの母親
犬苦手だったな

え…大丈夫!?
がんばりなよ

まあ大丈夫だろ
俺愛されてるし
…なんて

いつの時代でも どんな時でも
希望をもって生きることだって
できるということを

年表：ドン・ボスコの生涯

世界：1814年 スチーブンソンが蒸気機関車を発明

日本：1815年 第11代将軍 徳川家斉の時代

1815年 (0歳) 8月16日、サルデーニャ王国ピエモンテ地方(北イタリア)のベッキ村で生まれる。名前はジョヴァンニ・ボスコ。

1817年 (1歳) 父を急病で失う。母マルゲリータと兄弟3人の貧しい農家で学校に通えない。

世界：1821年 ナポレオン没

1824年 (9歳) 子どもたちを導いてゆく将来を示す夢を見る。

世界：1830年 フランス7月革命

1831～35年 (16～20歳) キエリで下宿し、働きながら中学・高校に通い勉強する。

1835～41年 (20～25歳) キエリの神学校で神父になるため学び、養成を受ける。

1841年 (25歳) カトリック司祭に叙階され「ドン・ボスコ」(ボスコ神父)と呼ばれるようになる。トリノの路上をさまよう少年たちと出会い、オラト

リオを始める。

1843年 (28歳) 働く少年たちのために夜間教室を始める。オラトリオの場所はその後転々とする。

1846年 (31歳) 4月、トリノのヴァルドッコ地区にあるピナルディ氏の小屋を借り、オラトリオ定住の地となる。7月、過労により重病に陥り、ベッキで長期療養する。11月、母マルゲリータを連れてオラトリオに戻る。

1847年 (32歳) 身寄りのない少年のために寮を始める。

1853年 (38歳) 職業学校を始める。工房や印刷所もかまえ、月刊誌「カトリック講話集」を創刊する。

1854年 (39歳) 4人の若者にサレジオ会の設立を提案する。夏、トリノでコレラが大流行し、オラトリオの少年は感染者の看病に尽力する。

1857年 (42歳) ドメニコ・サヴィオが15歳で病死。(1954年、聖人の称号を受ける)
世界：1859年 イタリア統一戦争(～60年)

1859年 (44歳) 17人の教え子たちと共に、青少年の魂の救いのために生涯をささげる「サレジオ会」を創立する。

1860年 (45歳) 教え子ミケーレ・ルアが最初のサレジオ会司祭となる。(1888年、ドン・ボスコの跡を継ぎ、第2代総長となる)

世界：1861年 イタリア王国成立／アメリカ南北戦争(～65年)

日本：1868年 明治維新が始まる

1868年 (53歳) トリノの扶助者聖マリア大聖堂を完成し、献堂式を行う。

1872年 (57歳) サレジオ会の姉妹会「扶助者聖母会」(サレジアン・シスターズ)を創立する。

1875年 (60歳) 最初の宣教師団を南米アルゼンチンへ派遣する。最初の宣教団長はジョヴァンニ・カリエロ神父。後に南米で枢機卿となる。

1876年 (61歳) 社会でサレジオ会の霊性を生きた協力者の会「サレジアニ・コオペラトリー」を創立する。

1888年 (72歳) 1月31日、神のもとに召される。

* * *

1926年 チマッティ神父ら9人のサレジオ会宣教師が来日。

1929年 6人のサレジアン・シスターズ会員が来日。

1934年 ドン・ボスコはカトリック教会から聖人の称号を受ける。

1937年 宮崎でイエスのカリタス修道女会が創立。

2015年 ドン・ボスコ生誕200周年。サレジオ会とその精神を受け継ぐ「サレジオ家族」は、世界130以上の国で、30グループ、40万人以上のメンバーが、学校・教会・社会生活のさまざまな場面で青少年と貧しい人々のために奉仕している。



ドン・ボスコが少年時代をすごしたベッキ村の家



ピナルディの家と広場で遊ぶ少年たちの絵



母マルゲリータとドン・ボスコの絵。犬はドン・ボスコを危険から守ったグリージョ



1861年(46歳)ドン・ボスコを写したいちばん古い写真



1880年(65歳) 聖母マリアに祈るドン・ボスコの写真

読者の皆さんへ

ついに……ドン・ボスコが漫画になりました。皆さん、いかがでしたか？

今年2015年はドン・ボスコがこの世に生まれて200周年ということで、いろいろな形でお祝いが行われています。この漫画は、特に現代に生きる若者の皆さんに、ドン・ボスコの精神をわかりやすい形で伝えて、その精神を新たにしたいという思いから生まれたものです。

ドン・ボスコの人生は72年、波瀾万丈で、これを1冊の漫画にまとめることはかなり困難なことでした。この漫画の目的を考え、わかりやすくまとめた形で伝えるために、時には史実とは厳密な意味では異なる部分もありますが、ドン・ボスコの根本的な人物像やメッセージについては誤解が生まれないよう細心の注意を払っています。

また、単にドン・ボスコの歴史物語を伝えるのではなく、現代の若者が彼と出会うという物語にしました。リクとマナという二人の高校生が時代と国を超えてドン・ボスコと出会う。最初は戸惑いを感じながらも少しずつ変わっていく二人の姿に、きっと読者の皆さんは共感するのではないかなと思っています。読んでくれた皆さんが、この二人を通してドン・ボスコに出会い、彼とオラトリオのみんなの生き方を知って、何か大切なことに気づいてくれたら、最高です。

ドン・ボスコは、19世紀のイタリア・トリノという舞台の中で、その時いちばん助けを必要としていた若者たちから目をそらさずに、彼らのために自分の一生をかけました。しかも、若者が若者らしく、元気いっぱい楽しく過ごしながら神様に向かって進めるような新しいやり方で取り組んでいったのです。そのスタイルが、おそらく今でも世界中で多くの若者を惹きつけている魅力になっていると思います。そしてこの漫画を読んだ皆さんも、そんなドン・ボス

コの魅力に強く引き寄せられるのを感じるのではないのでしょうか。

ドン・ボスコの働きは、彼の晩年から世界に広がり始め、現在では130以上の国で「サレジオ会」というカトリック修道会の働きとして、また彼のスタイルを受け継ぐ「サレジオ家族」と呼ばれる30のグループの働きとして続けられています。日本ではサレジオ会、サレジアン・シスターズ、イエスのカリタス修道女会、サレジアニー・コオペラトリー、ドン・ボスコ女子在俗会(VDB)、扶助者聖マリアの会(ADMA)、扶助者聖母会同窓会(ウニオーネ)、サレジオ同窓会連合の8つのグループが活動しています。

最後になりましたが、この漫画はドン・ボスコの心を伝えたい仲間たち皆の共同作業で完成しました。企画当時の日本管区長として漫画出版を激励してくださった故アルド・チブリアニ神父。現日本管区長の山野内倫昭神父。漫画家の鈴木ぐりさん、漫画編集者のスタイル株式会社 浦田雅子さん、背景担当のまがみばんさん、DTP担当の石田毅さん。関谷義樹神父はじめドン・ボスコ社編集部の方々の皆さん。貴重なアドバイスをくださった皆さん。本当にありがとうございました。

この漫画を通して多くの方がドン・ボスコを好きになり、ひいてはイエス様を好きになってくれることを願っています。

コラッジョ!! (勇気を出して!!)

2015年5月6日 聖ドメニコ・サヴィオの記念日に

監修者 浦田 慎二郎 (サレジオ会司祭・ドン・ボスコ研究家)

漫画家 鈴木ぐりのあとがきへの道！



ドン・ボスコを知るために—— ドン・ボスコ社 おすすめの本・DVD



完訳 ドン・ボスコ伝

テレビオ・ボスコ著
サレジオ会訳
A5 判上製 540 頁

ドン・ボスコについての証言や記録、混迷する
イタリアの状況を紹介しながら、その人柄と生涯
を描く伝記の決定版。



心が強く優しくなる ドン・ボスコの ことば100

サレジオ会日本管区編
浦田慎二郎監修
文庫判並製 205 頁

青少年の「魂」を愛し育てることを大切にしたドン・
ボスコ。寄り添い、人を笑顔にし、導いてくれる
100の言葉集。サレジオ会司祭らによる解説付。



ドン・ボスコ 自叙伝

ドン・ボスコ著
石川康輔訳
四六判並製 350 頁

教皇の命令により執筆された自叙伝。幼少期から、
トリノ・ヴァルドッコでの彼の事業が軌道に乗
るまでの40年間の回想録。



若者を育てる ドン・ボスコの ことば

ガエタノ・コンプリ編著
四六判並製 237 頁

「共にいる教育」、愛・道徳・信仰による「予防
教育法」。若者がいきいきと育つ教育法の秘訣
が満載。若者と共に歩むすべての人に。



青少年の友 ドン・ボスコ

キャサリン・ビーブ著
野口重光訳
新書判並製 221 頁

少年たちの神父になったドン・ボスコの魅力あふ
れるエピソードを中心に紹介。小中学生にも読
みやすい新書判。



DVD ドン・ボスコ

ロドヴィコ・ガスパリーニ監督
日本語吹替版 200 分

愛と信頼、強い心で少年たちを育んだ真の教
育者の姿が美しい映像でよみがえる。イタリア国
営放送の感動的作品。

お求め・お問い合わせは…… ドン・ボスコ社
TEL 03-3351-7041 FAX 03-3351-5430

ネットショップ <http://www.donboscosha.com>

サレジオ会日本管区 Twitterアカウント



サレジオ会日本管区 Facebookページ



原作 ^{かい に ほんかんく} サレジオ会日本管区

1859年、ドン・ボスコにより創立。青少年、特に貧しく不利な立場にいる青少年のために生涯をささげて働く、カトリックの神父・修道士による修道会。現在1万5千人の会員が世界130以上の国で活動している。日本には14支部があり、青少年の人間形成のため教育・社会福祉・出版・教会活動に携わっている。http://salesians.jp/

作画 ^{すず き} 鈴木ぐり

鹿児島県指宿市出身。東京都在住。
数々の職業を経験した後、漫画家に転身。
『幸せなスピリーマン』（かんき出版）で漫画家デビュー。
主にビジネス書籍・雑誌・広告などで活躍中。

監修 ^{うら た しんじろう} 浦田慎二郎

1971年生まれ。サレジオ会司祭。教皇庁立サレジオ大学大学院霊性神学博士課程修了、神学博士号取得。専門はドン・ボスコ研究。著書に『フランシスコ・サレジオと共に歩む神への道のり』、監修に『心が強く優しくなるドン・ボスコのことば100』、『いつでも共にいてくれるイエスのことば100』、『こころの教育者ドン・ボスコの「ローマからの手紙」』（いずれもドン・ボスコ社）などがある。

編集協力 スタイル株式会社 浦田雅子／背景 まがみばん／DTP 石田毅

Text © 2015 Salesians of Don Bosco Japanese Province
Illustrations © 2015 Guri Suzuki
Copyright © 2015 Don Bosco Sha Japan

コラッジョ !! ドン・ボスコの^{ゆめ つづ}夢は続く

2015年5月15日 初版発行

原 作 サレジオ会日本管区
作 画 鈴木ぐり
監 修 浦田慎二郎
発行者 関谷義樹
発行所 ドン・ボスコ社
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9-7
TEL 03-3351-7041 FAX 03-3351-5430
印刷所 日之出印刷株式会社

ISBN978-4-88626-584-5 C0916
（乱丁・落丁はお取替えいたします）
Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。
All rights reserved. No part of this book may be reproduced, transmitted, broadcast or stored in an information retrieval system in any form or by any means, graphic, electronic or mechanical, including photocopying, without prior written permission from the publisher.